

「障がい者計画」・「障がい福祉計画」・「障がい児福祉計画」
策定のための

アンケート結果報告書【18歳未満】

令和5年2月

鳴門市

目 次

第 1 章 調査概要.....	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 回収結果	1
4. 数値等の基本的な取扱いについて	1
5. 報告書の語句の定義	2
第 2 章 調査結果.....	3
1. アンケートの回答者	3
2. 年齢	3
3. 性別	3
4. お住まいの地区	4
5. 障がいの状況について	5
6. 暮らしについて	13
7. 日中活動について	24
8. 障がい福祉サービスなどの利用について	29
9. 相談相手や情報源について	34
10. 権利擁護について	38
11. 災害時の避難について	40
12. 本市の施策について	44
13. お子さまの養育（支援）について	50
調査票.....	54

第1章 調査概要

1. 調査の目的

障がい福祉サービス及び障がい児通所サービスの利用実態や障がいに関する意識、意向などを把握し、計画策定や施策推進のための資料とすることを目的として実施しました。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

18歳未満の障がい児及びその家族等

(2) 抽出方法

令和4年10月現在、児童発達支援などの受給者証または障がい者手帳をお持ちの全ての児童

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

(4) 調査期間

令和4年12月13日～12月27日

3. 回収結果

(1) 配布数 346 票

(2) 回収数 141 票

(3) 回収率 40.8%

4. 数値等の基本的な取扱いについて

- ・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。
- ・基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数または該当者数）
- ・質問の終わりに【複数回答可】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であるため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ・文中、グラフ中の設問カテゴリー（選択肢）の文言は、一部簡略化する場合があります。
- ・文中、グラフ中の数値や選択肢の文言は、一部省略・簡略化してあります。また、割合が0%であった箇所の数値は、一部を除いて基本的に省略しています。

5. 報告書の語句の定義

グラフ中に記載している語句の定義は次の通りです。

- ・「身体」は、「問5 身体障がい者手帳をお持ちですか」で「1. ～6.」（1級から6級）に○を付けた方です。
- ・「療育」は、「問7 療育手帳をお持ちですか」で「1. ～4.」（A1からB2）に○を付けた方です。
- ・「精神」は、「問8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか」で「1. ～3.」（1級から3級）に○を付けた方です。
- ・「難病」は、「問9 難病（指定難病）の認定を受けていますか」で「1.」（受けている）に○をつけた方です。
- ・「複数」は、次の4パターンのいずれかに該当する方です。

問5 身体障がい者手帳を お持ちですか。	問7 療育手帳を お持ちですか。	問8 精神障がい者保健福祉手帳を お持ちですか。	手帳数
「1. ～6. 」に○	「1. ～4. 」に○	「1. ～3. 」に○	3
「1. ～6. 」に○	「1. ～4. 」に○	「4. 」(持っていない)に○	2
「1. ～6. 」に○	「5. 」(持っていない)に○	「1. ～3. 」に○	2
「7. 」(持っていない)に○	「1. ～4. 」に○	「1. ～3. 」に○	2

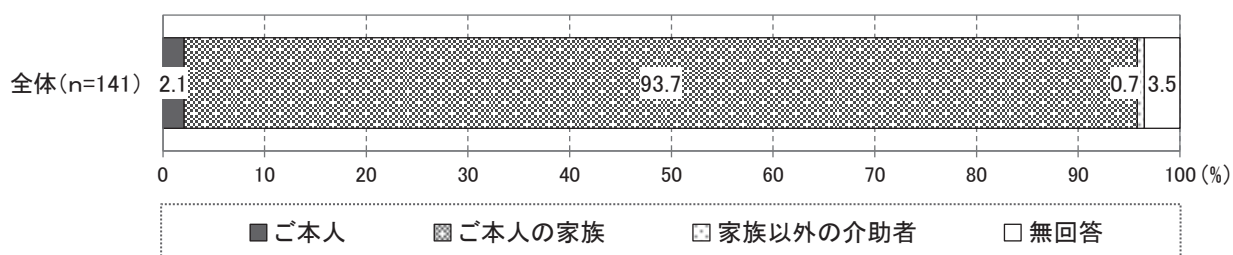
第2章 調査結果

1. アンケートの回答者

※北灘町のアンケート回収数が0票のため、グラフ等からは省いて報告書を作成しています。

問1 ご記入いただくのは、どなたですか。

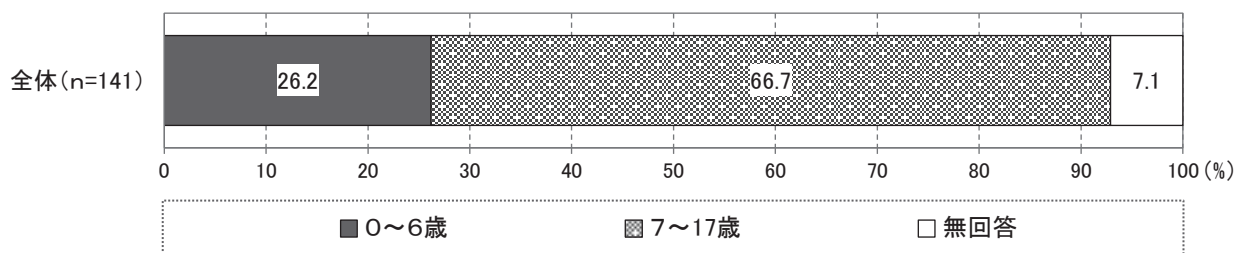
「ご本人の家族」が93.7%と最も高く、次いで、「ご本人」(2.1%)、「家族以外の介助者」(0.7%)の順となっています。



2. 年齢

問2 年齢をお答えください。(令和4年11月1日時点)

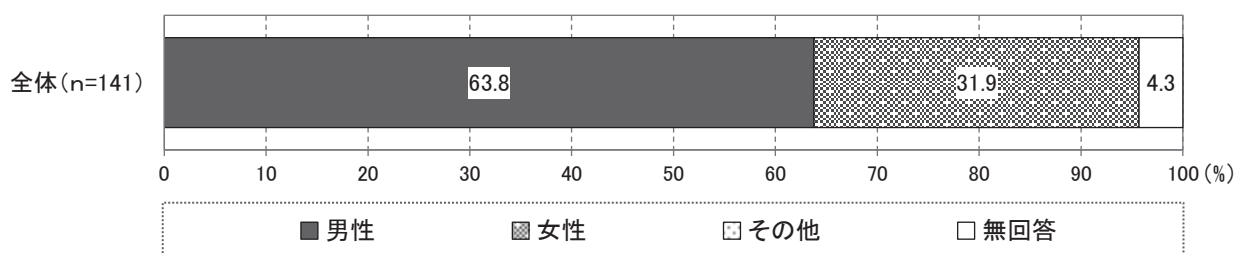
「0～6歳」が26.2%、「7～17歳」が66.7%となっています。



3. 性別

問3 性別をお答えください。

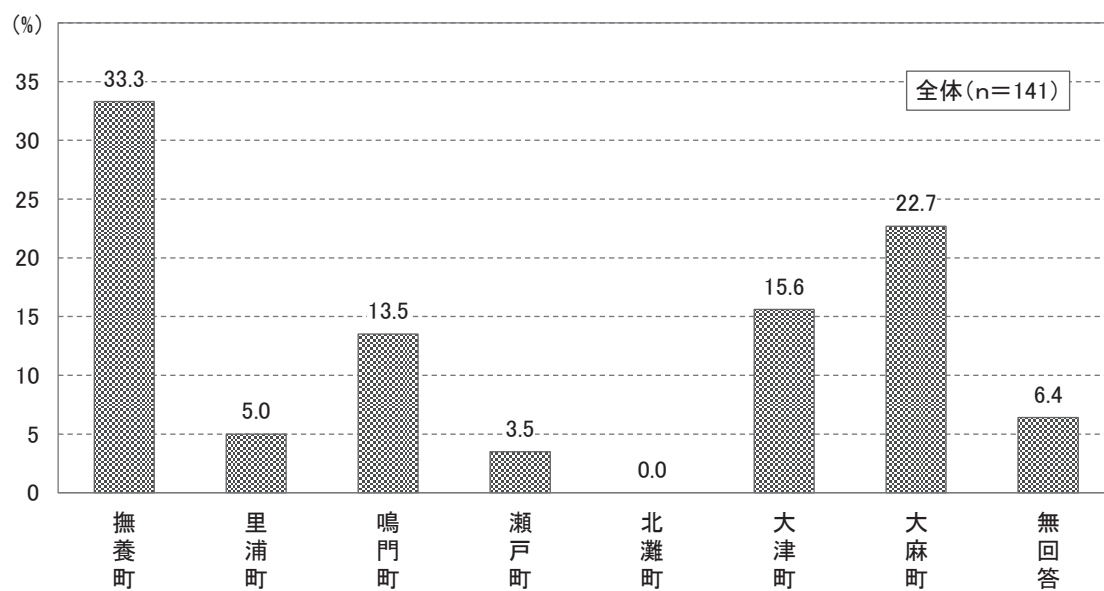
「男性」が63.8%、「女性」が31.9%となっています。



4. お住まいの地区

問 4 お住まいの地区（町）をお答えください。

「撫養町」が 33.3%と最も高く、次いで、「大麻町」（22.7%）、「大津町」（15.6%）の順となっています。



5. 障がいの状況について

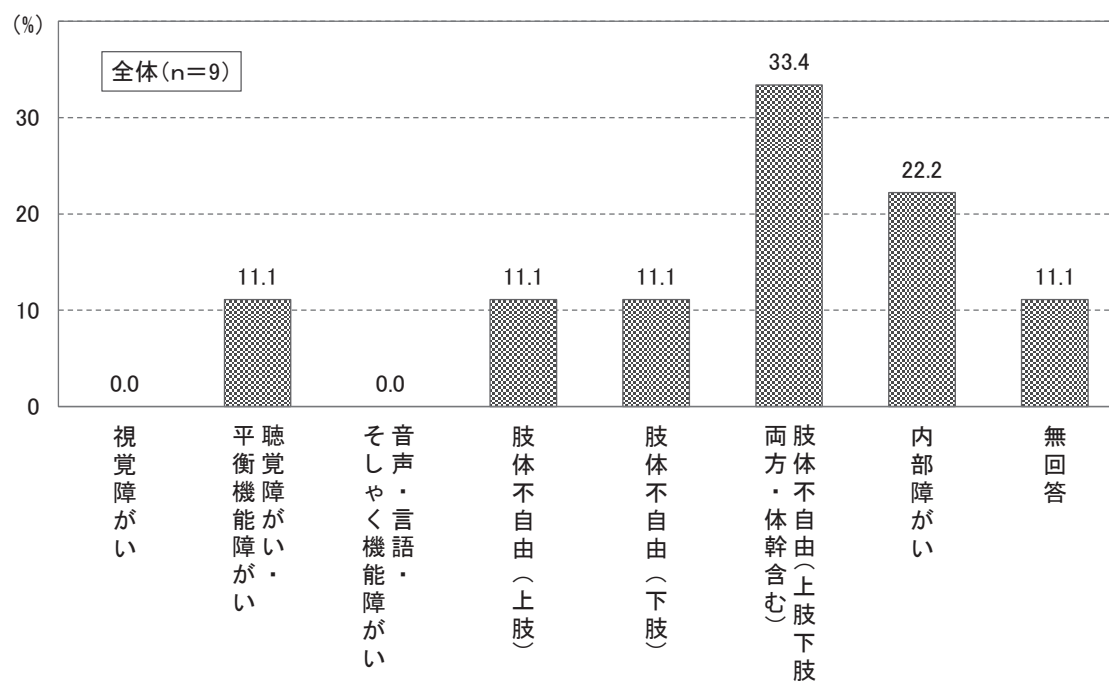
問5 身体障がい者手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が89.4%と最も高く、次いで、「1級」(2.8%)、「3級」(1.4%)、「2級」・「4級」・「6級」(0.7%で同率)の順となっています。

		(n=)	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	い持 なっ いて	無 回 答
	全体	141	4 2.8%	1 0.7%	2 1.4%	1 0.7%	0 0.0%	1 0.7%	126 89.4%	6 4.3%
年 齢	0～6歳	37	1 2.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	36 97.3%	0 0.0%
	7～17歳	94	3 3.2%	1 1.1%	2 2.1%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	85 90.3%	1 1.1%
地 区	撫養町	47	3 6.4%	1 2.1%	1 2.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.1%	41 87.3%	0 0.0%
	里浦町	7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
	鳴門町	19	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 94.7%	0 0.0%
	瀬戸町	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
	大津町	22	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	20 91.0%	0 0.0%
	大麻町	32	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	31 96.9%	1 3.1%

問 6 身体障がい者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。

「肢体不自由（上肢下肢両方・体幹含む）」が 33.4%と最も高く、次いで、「内部障がい」（22.2%）、
「聴覚障がい・平衡機能障がい」・「肢体不自由（上肢）」・「肢体不自由（下肢）」（11.1%で同率）の
順となっています。



問7 療育手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が66.6%と最も高く、次いで、「B2」（7.8%）、「A2」（6.4%）の順となっています。

		(n=)	A 1	A 2	B 1	B 2	い持 なっ いて	無 回 答
	全体	141	8 5.7%	9 6.4%	7 5.0%	11 7.8%	94 66.6%	12 8.5%
年 齢	0～6歳	37	1 2.7%	5 13.5%	0 0.0%	2 5.4%	27 73.0%	2 5.4%
	7～17歳	94	7 7.4%	4 4.3%	7 7.4%	8 8.5%	63 67.1%	5 5.3%
地 区	撫養町	47	4 8.5%	4 8.5%	3 6.4%	4 8.5%	31 66.0%	1 2.1%
	里浦町	7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	4 57.1%	1 14.3%
	鳴門町	19	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	2 10.5%	13 68.4%	0 0.0%
	瀬戸町	5	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%
	大津町	22	1 4.5%	2 9.1%	2 9.1%	2 9.1%	14 63.7%	1 4.5%
	大麻町	32	1 3.1%	2 6.3%	0 0.0%	1 3.1%	25 78.1%	3 9.4%

問 8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。

全体では、「持っていない」が89.4%と最も高く、次いで、「3級」(3.5%)、「2級」(0.7%)の順となっています。

		(n=)	1 級	2 級	3 級	い 持 な っ て い て	無 回 答
	全体	141	0 0.0%	1 0.7%	5 3.5%	126 89.4%	9 6.4%
年 齢	0～6歳	37	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 100.0%	0 0.0%
	7～17歳	94	0 0.0%	1 1.1%	4 4.3%	85 90.3%	4 4.3%
地 区	撫養町	47	0 0.0%	1 2.1%	3 6.4%	42 89.4%	1 2.1%
	里浦町	7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	1 14.3%
	鳴門町	19	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 100.0%	0 0.0%
	瀬戸町	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
	大津町	22	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	20 91.0%	1 4.5%
	大麻町	32	0 0.0%	0 0.0%	1 3.1%	30 93.8%	1 3.1%

問9 難病（特定疾患）の認定を受けていますか。

全体では、「受けている」が0.7%、「受けていない」が95.0%となっています。

		(n=)	受 い け る て	い 受 な け い て	無 回 答
	全体	141	1 0.7%	134 95.0%	6 4.3%
年 齢	0～6歳	37	0 0.0%	37 100.0%	0 0.0%
	7～17歳	94	1 1.1%	92 97.8%	1 1.1%
地 区	撫養町	47	1 2.1%	46 97.9%	0 0.0%
	里浦町	7	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
	鳴門町	19	0 0.0%	19 100.0%	0 0.0%
	瀬戸町	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
	大津町	22	0 0.0%	22 100.0%	0 0.0%
	大麻町	32	0 0.0%	31 96.9%	1 3.1%

問 10 発達障がいとして診断されたことがありますか。

全体では、「診断されたことがある」が 45.4%と最も高く、次いで、「診断されたことがない」(30.5%)、「発達障がいとは診断されていないが、医療機関などから療育を勧められている」(18.4%) の順となっています。

		(n=)	診断されたことがある	発達障がい療育を勧められている	診断されたことがない	無回答
	全体	141	64 45.4%	26 18.4%	43 30.5%	8 5.7%
年 齢	0～6歳	37	9 24.3%	11 29.7%	15 40.6%	2 5.4%
	7～17歳	94	52 55.3%	14 14.9%	27 28.7%	1 1.1%
地 区	撫養町	47	28 59.6%	8 17.0%	10 21.3%	1 2.1%
	里浦町	7	1 14.3%	2 28.6%	4 57.1%	0 0.0%
	鳴門町	19	11 57.9%	2 10.5%	6 31.6%	0 0.0%
	瀬戸町	5	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	1 20.0%
	大津町	22	12 54.6%	3 13.6%	7 31.8%	0 0.0%
	大麻町	32	11 34.4%	9 28.1%	11 34.4%	1 3.1%

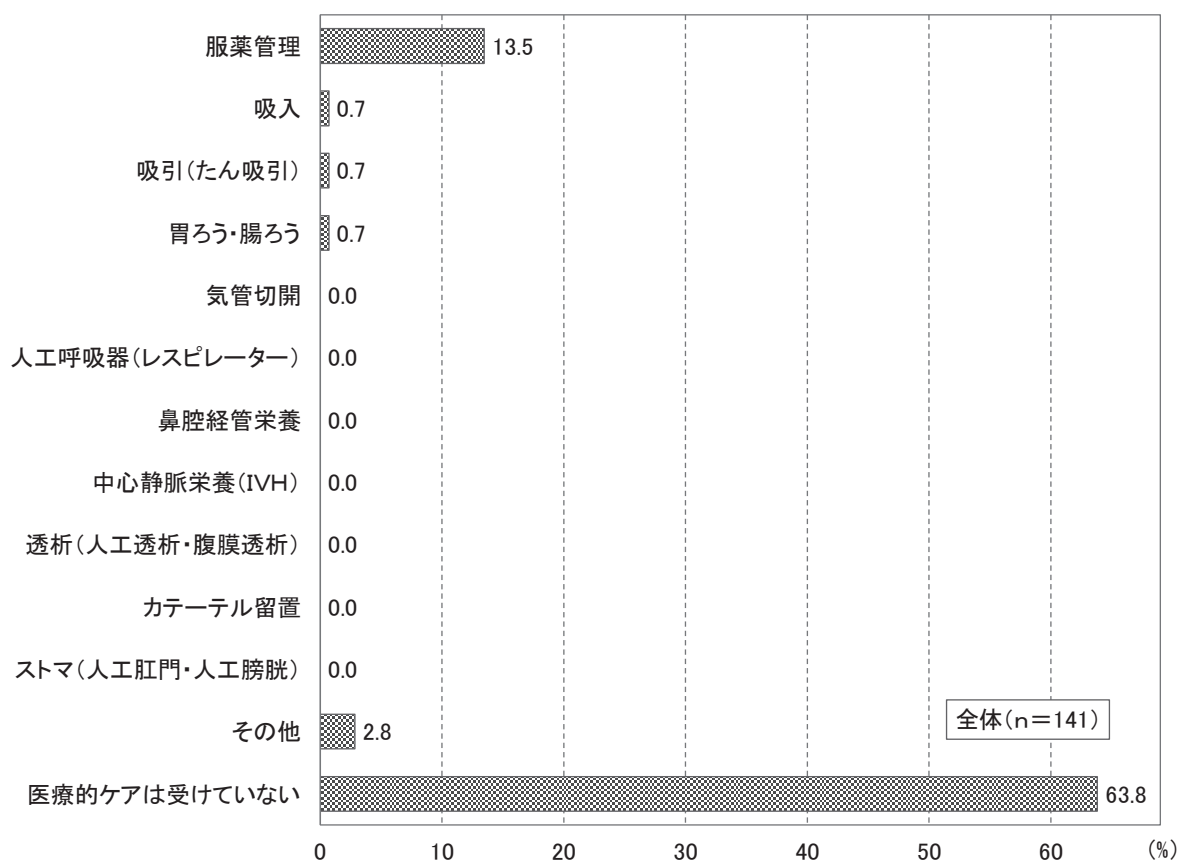
問 11 自立支援医療受給者証（精神通院）をお持ちですか。

全体では、「持っている」が5.7%、「持っていない」が90.0%となっています。

		(n=)	持 い っ て る	い 持 な っ て い て	無 回 答
	全体	141	8 5.7%	127 90.0%	6 4.3%
年 齢	0～6歳	37	0 0.0%	37 100.0%	0 0.0%
	7～17歳	94	7 7.4%	86 91.5%	1 1.1%
地 区	撫養町	47	4 8.5%	42 89.4%	1 2.1%
	里浦町	7	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%
	鳴門町	19	1 5.3%	18 94.7%	0 0.0%
	瀬戸町	5	0 0.0%	5 100.0%	0 0.0%
	大津町	22	1 4.5%	21 95.5%	0 0.0%
	大麻町	32	2 6.3%	30 93.7%	0 0.0%

問 12 現在受けている医療的ケアをお答えください。【複数回答可】

受けている医療的ケアでみると、「服薬管理」が 13.5%と最も高く、次いで、「吸入」・「吸引（たん吸引）」・「胃ろう・腸ろう」（0.7%で同率）の順となっています。



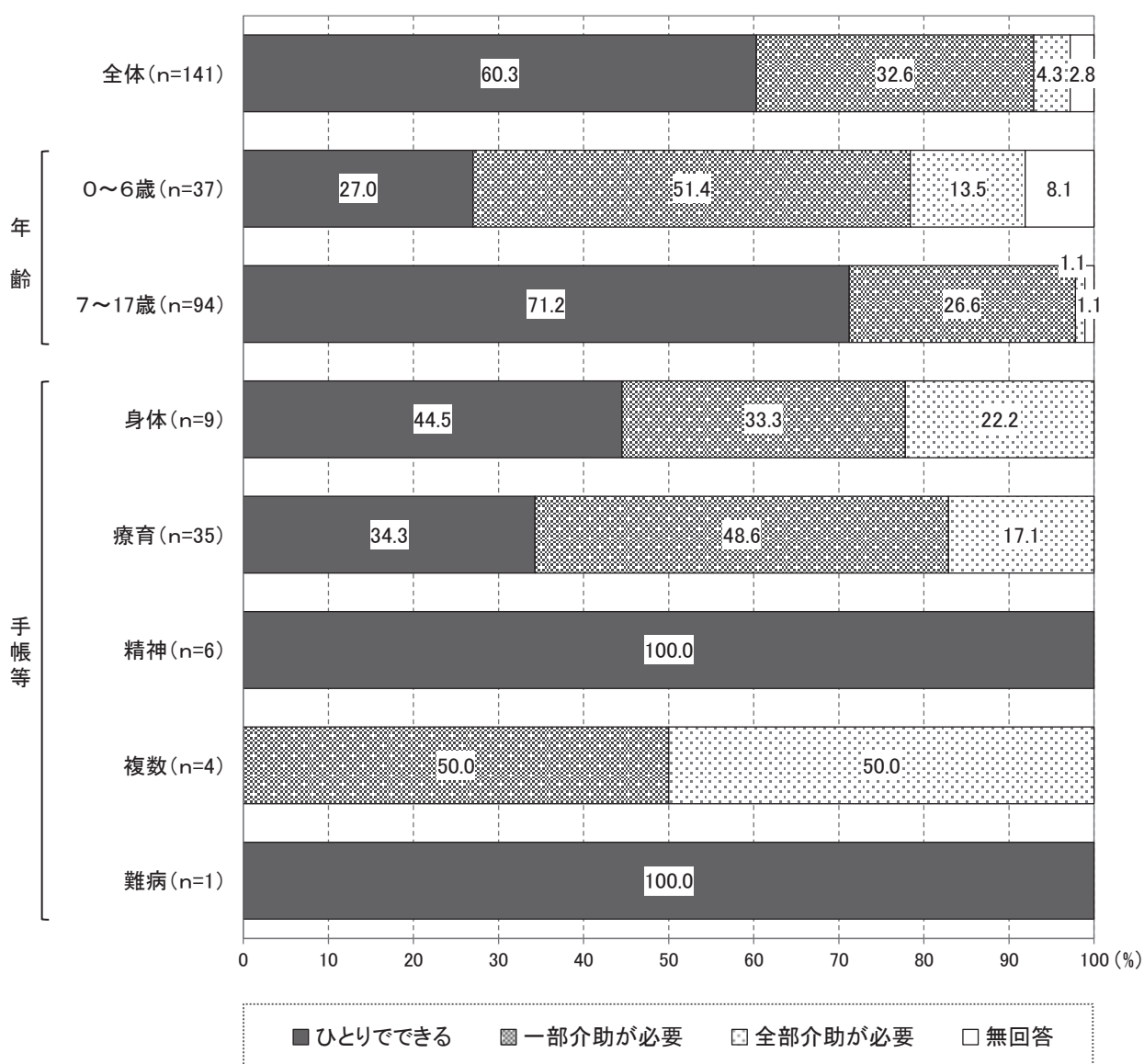
	(n=)	気管切開	人工呼吸器(レスピレーター)	吸入	吸引(たん吸引)	胃ろう・腸ろう	鼻腔経管栄養	中心静脈栄養(IVH)	透析(人工透析・腹膜透析)	カテーテル留置	ストマ(人工肛門・人工膀胱)	服薬管理	その他	医療的ケアは受けていない
全体	141	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	1 0.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	19 13.5%	4 2.8%	90 63.8%
身体	9	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	6 66.7%
療育	35	0 0.0%	0 0.0%	1 2.9%	1 2.9%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 17.1%	0 0.0%	19 54.3%
精神	6	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	4 66.7%
複数	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

6. 暮らしについて

問 13 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。

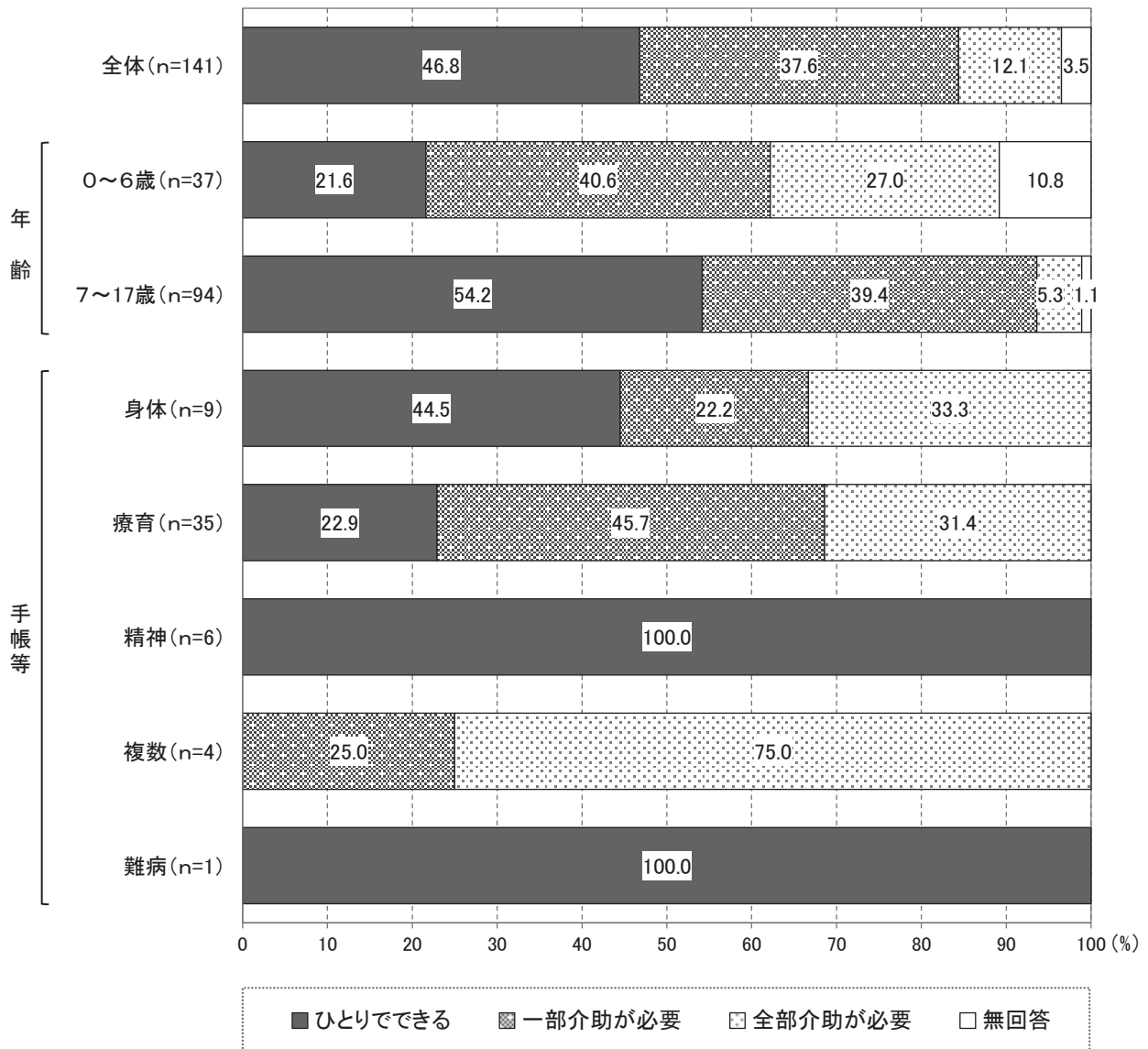
① 食事・入浴・トイレなどの日常動作

全体では、「ひとりでできる」が60.3%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(32.6%)、「全部介助が必要」(4.3%)の順となっています。



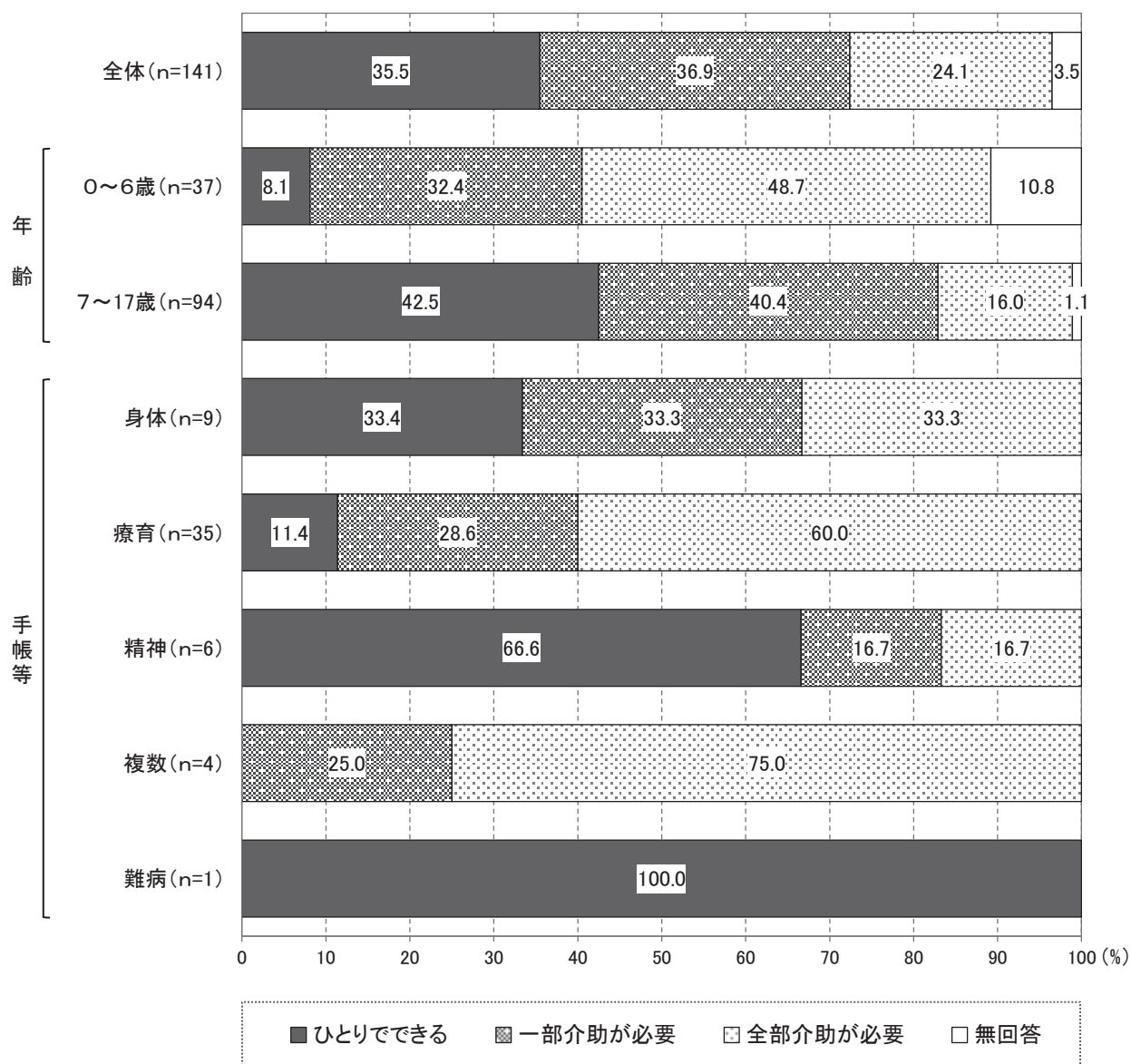
② 身の回りの整理整頓や衣服の選択

全体では、「ひとりでできる」が46.8%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(37.6%)、「全部介助が必要」(12.1%)の順となっています。



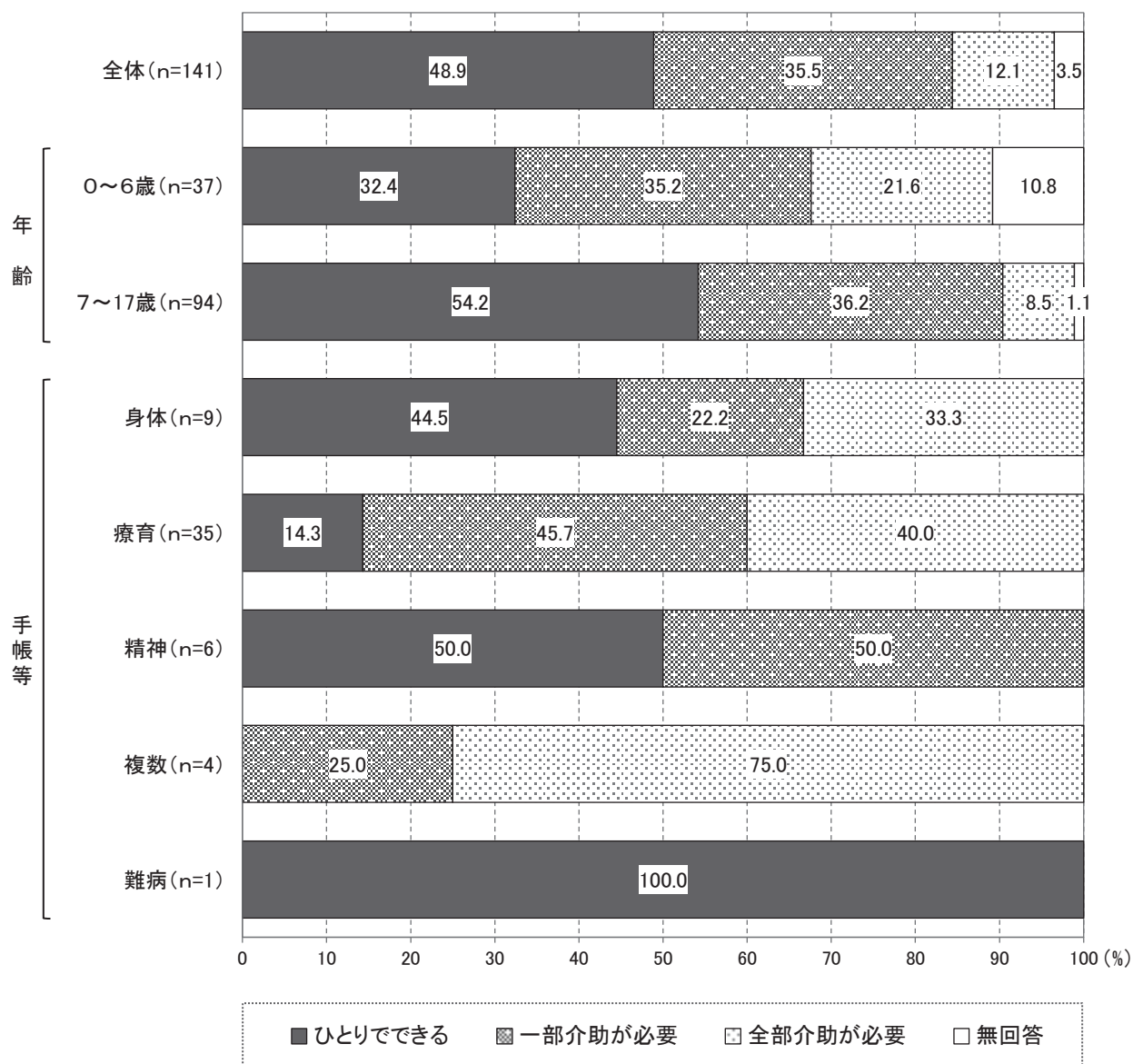
③ 通学や近所の買い物などの外出

全体では、「一部介助が必要」が36.9%と最も高く、次いで、「ひとりでできる」(35.5%)、「全部介助が必要」(24.1%)の順となっています。



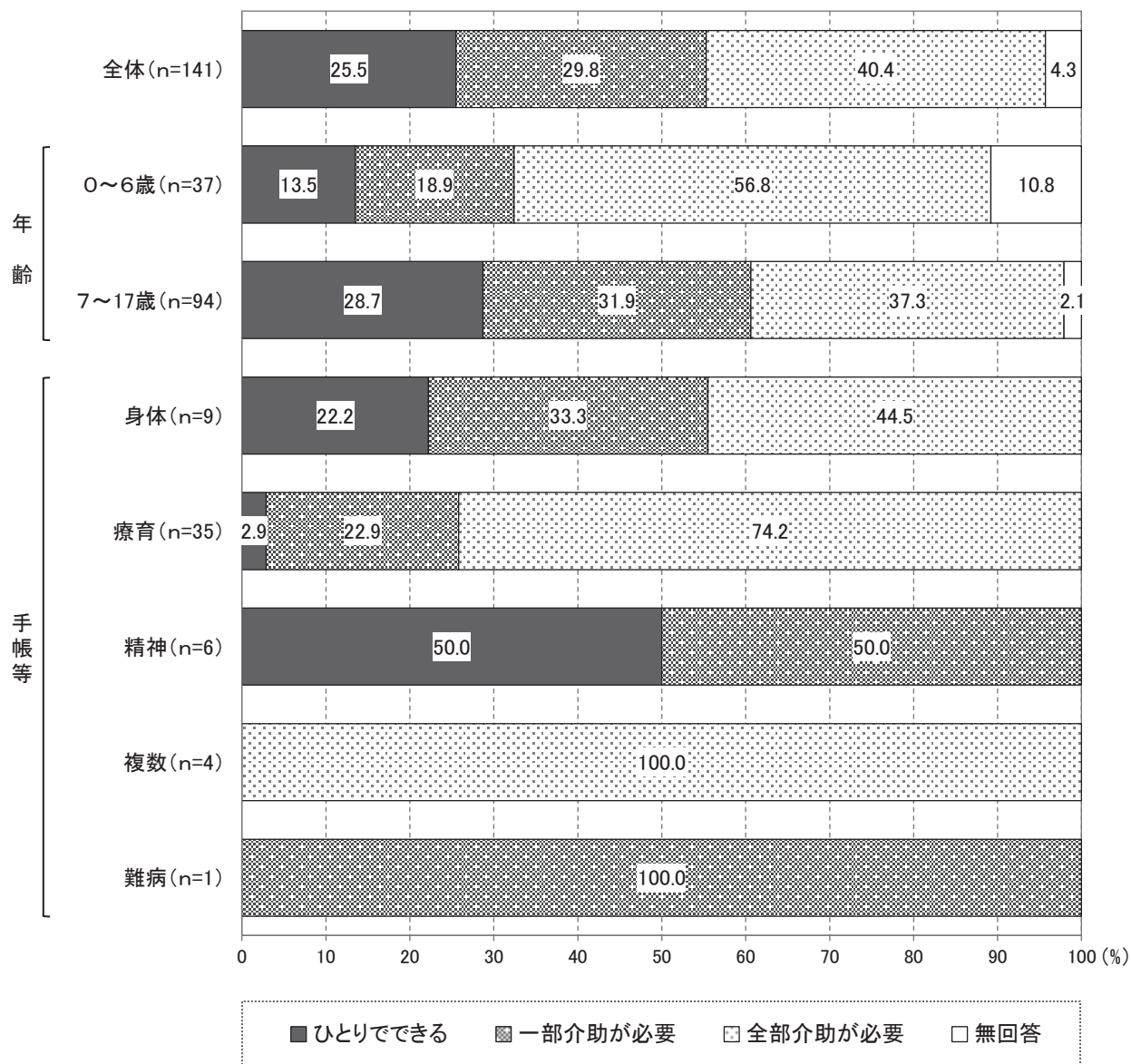
④ 家族以外の人との意思疎通

全体では、「ひとりでできる」が48.9%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(35.5%)、「全部介助が必要」(12.1%)の順となっています。



⑤ 大規模な災害発生時の避難・連絡

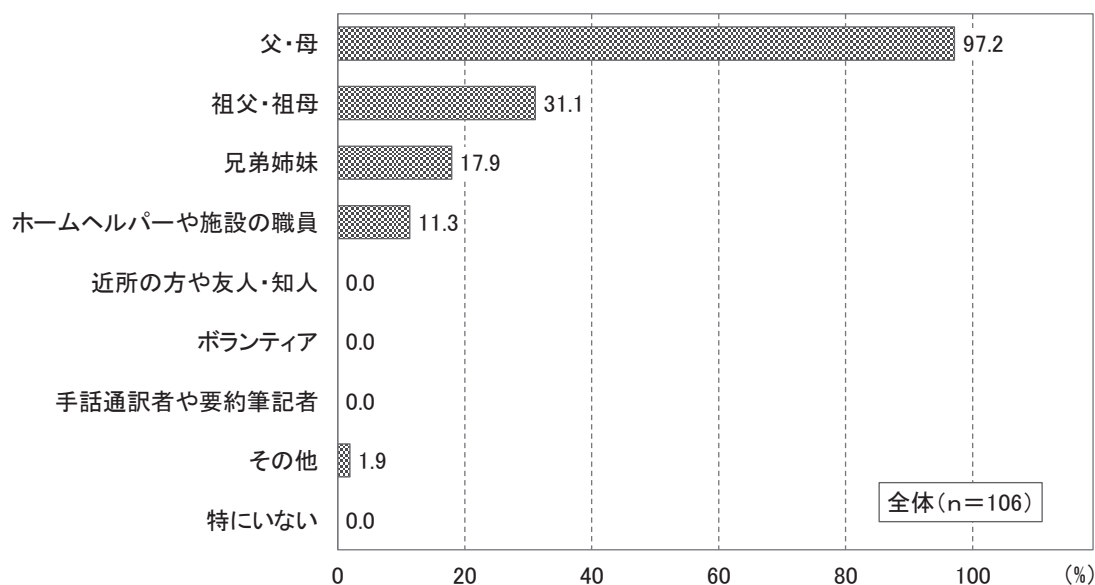
全体では、「全部介助が必要」が40.4%と最も高く、次いで、「一部介助が必要」(29.8%)、「ひとりでできる」(25.5%)の順となっています。



問 14

◆問 13 で「一部介助が必要」または「全部介助が必要」と答えた方。
介助してくれる方は主に誰ですか。【複数回答可】

「父・母」が 97.2%と最も高く、次いで、「祖父・祖母」(31.1%)、「兄弟姉妹」(17.9%) の順となっています。



主なその他意見

- ・ 親戚。
- ・ 学校の先生。

	(n=)	父・母	祖父・祖母	兄弟姉妹	近所の方や友人・知人	ホームヘルパーや施設の職員	ボランティア	手話通訳者や要約筆者	その他	特にいない
全体	106	103 97.2%	33 31.1%	19 17.9%	0 0.0%	12 11.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	0 0.0%
身体	7	7 100.0%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
療育	34	31 91.2%	11 32.4%	12 35.3%	0 0.0%	9 26.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神	4	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
複数	4	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

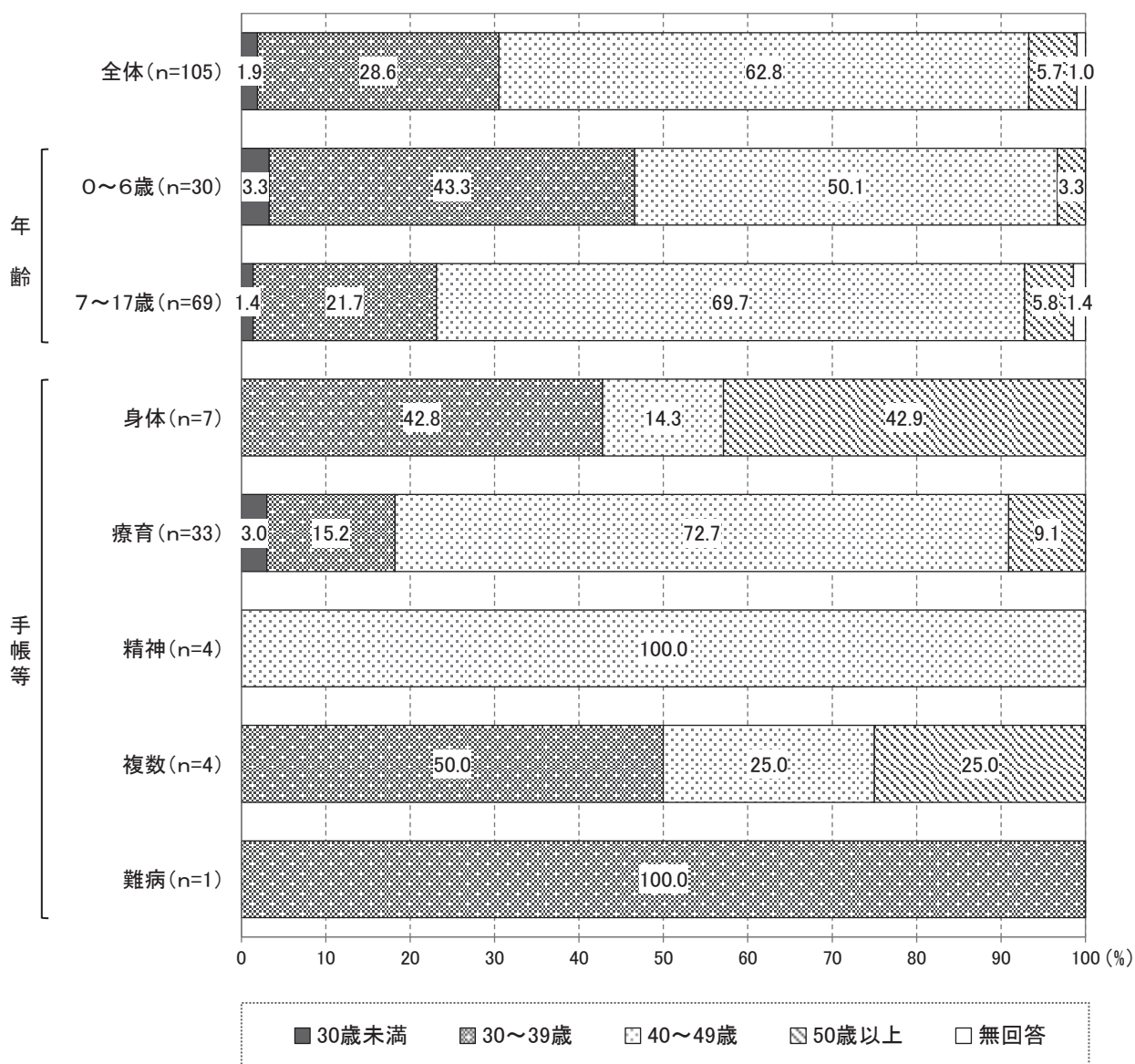
問 15

◆問 14 で「1. ～3.」を選んだ方。

介助してくれる家族で、中心となっている方についてお答えください。

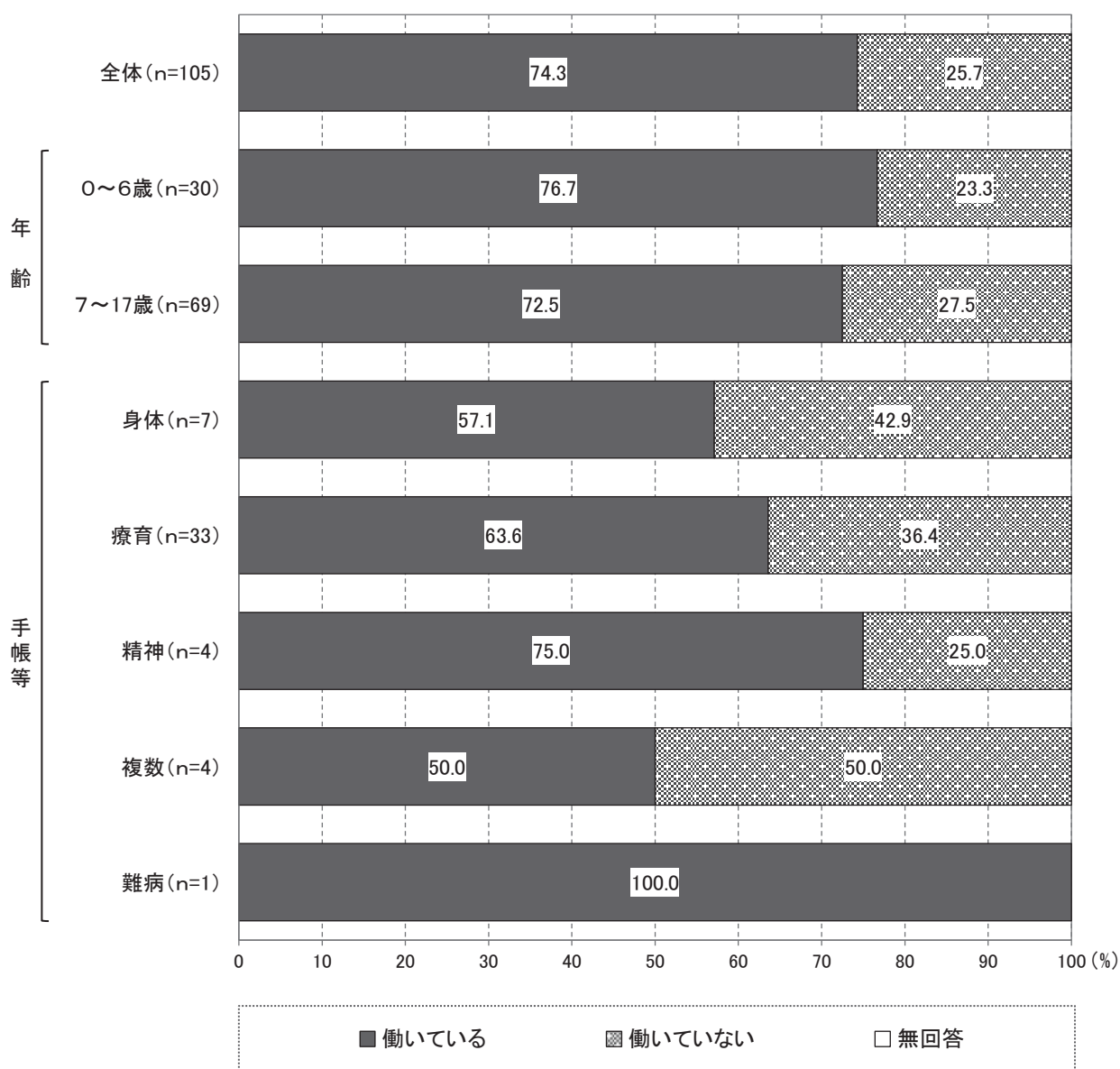
(1) 年齢

全体では、「40～49 歳」が 62.8%と最も高く、次いで、「30～39 歳」(28.6%)、「50 歳以上」(5.7%)の順となっています。



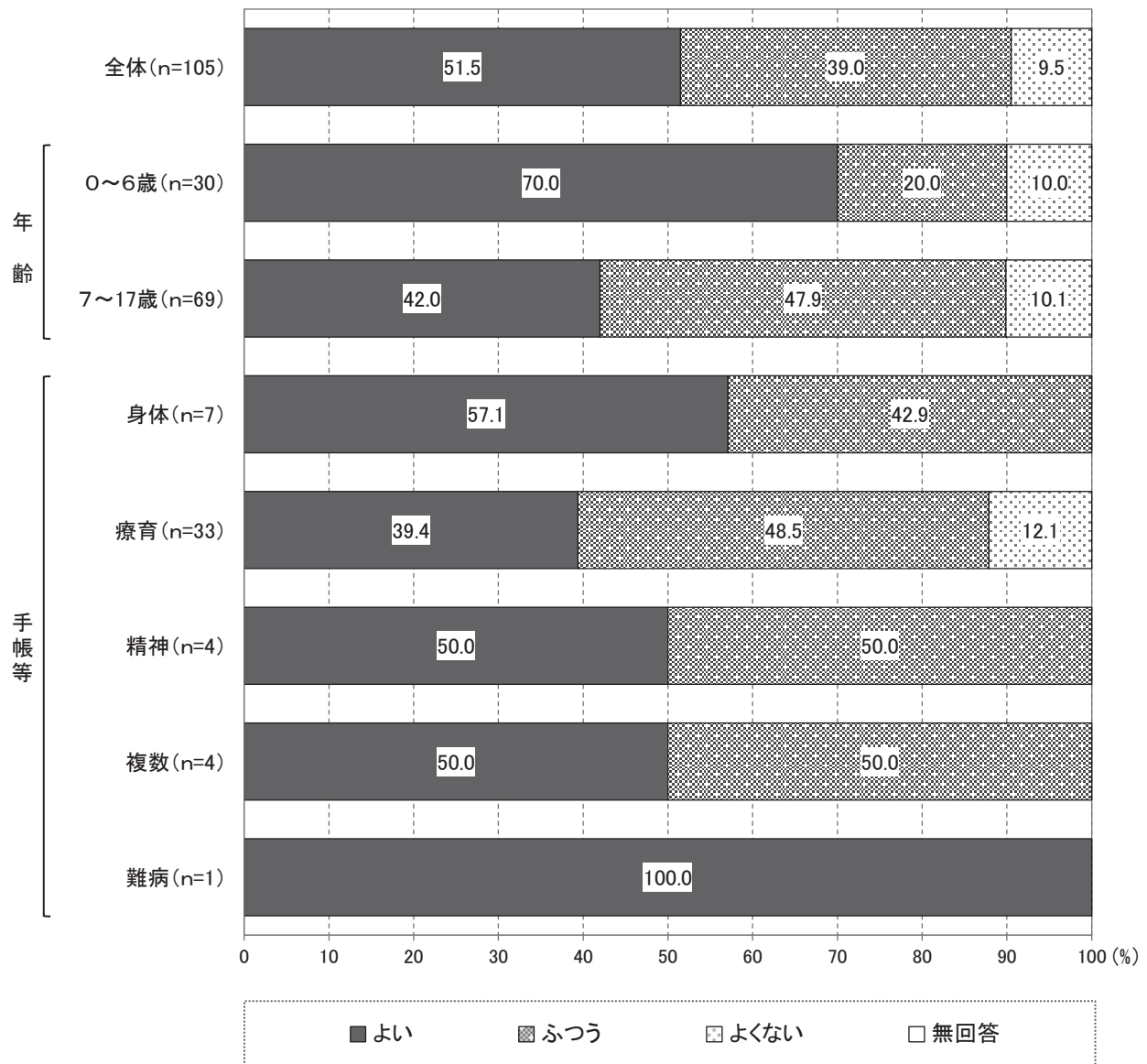
(2) 就労状況

全体では、「働いている」が74.3%、「働いていない」が25.7%となっています。



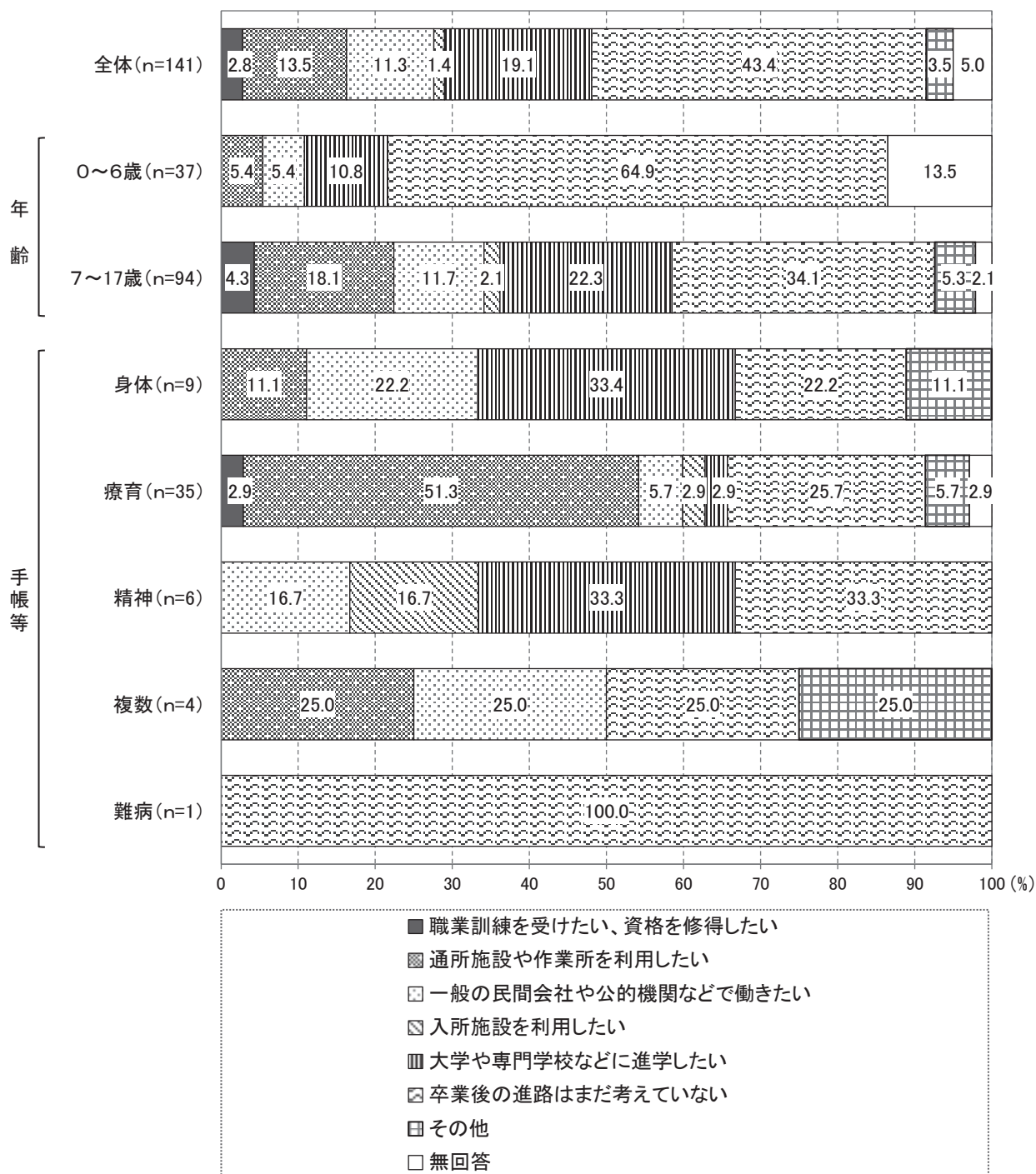
(3) 健康状態

全体では、「よい」が51.5%と最も高く、次いで、「ふつう」(39.0%)、「よくない」(9.5%)の順となっています。



問 16 学校などの卒業後の進路についてどのように考えていますか。

全体では、「卒業後の進路はまだ考えていない」が43.4%と最も高く、次いで、「大学や専門学校などに進学したい」(19.1%)、「通所施設や作業所を利用したい」(13.5%)の順となっています。

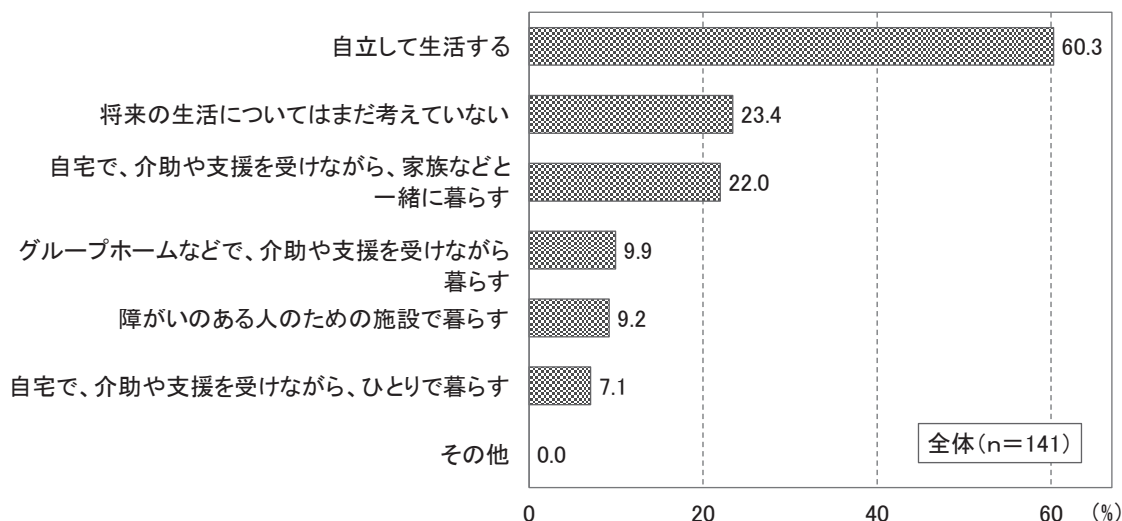


主なその他意見

- ・ 自営業。
- ・ 入所しつつ就労できる場所を利用できたらと思う。

問17 将来、どのような暮らし方をしたいと考えていますか。【複数回答可】

「自立して生活する」が 60.3%と最も高く、次いで、「将来の生活についてはまだ考えていない」(23.4%)、「自宅で、介助や支援を受けながら、家族などと一緒に暮らす」(22.0%)の順となっています。



	(n=)	自立して生活する	自宅で、介助や支援を受けながら暮らす	自宅で、介助や支援を受けながら暮らす	グループホームなどで、介助や支援を受けながら暮らす	障がいのある人のための施設で暮らす	将来の生活についてはまだ考えていない	その他
全体	141	85 60.3%	10 7.1%	31 22.0%	14 9.9%	13 9.2%	33 23.4%	0 0.0%
身体	9	6 66.7%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
療育	35	7 20.0%	5 14.3%	21 60.0%	12 34.3%	11 31.4%	9 25.7%	0 0.0%
精神	6	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
複数	4	1 25.0%	1 25.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
難病	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

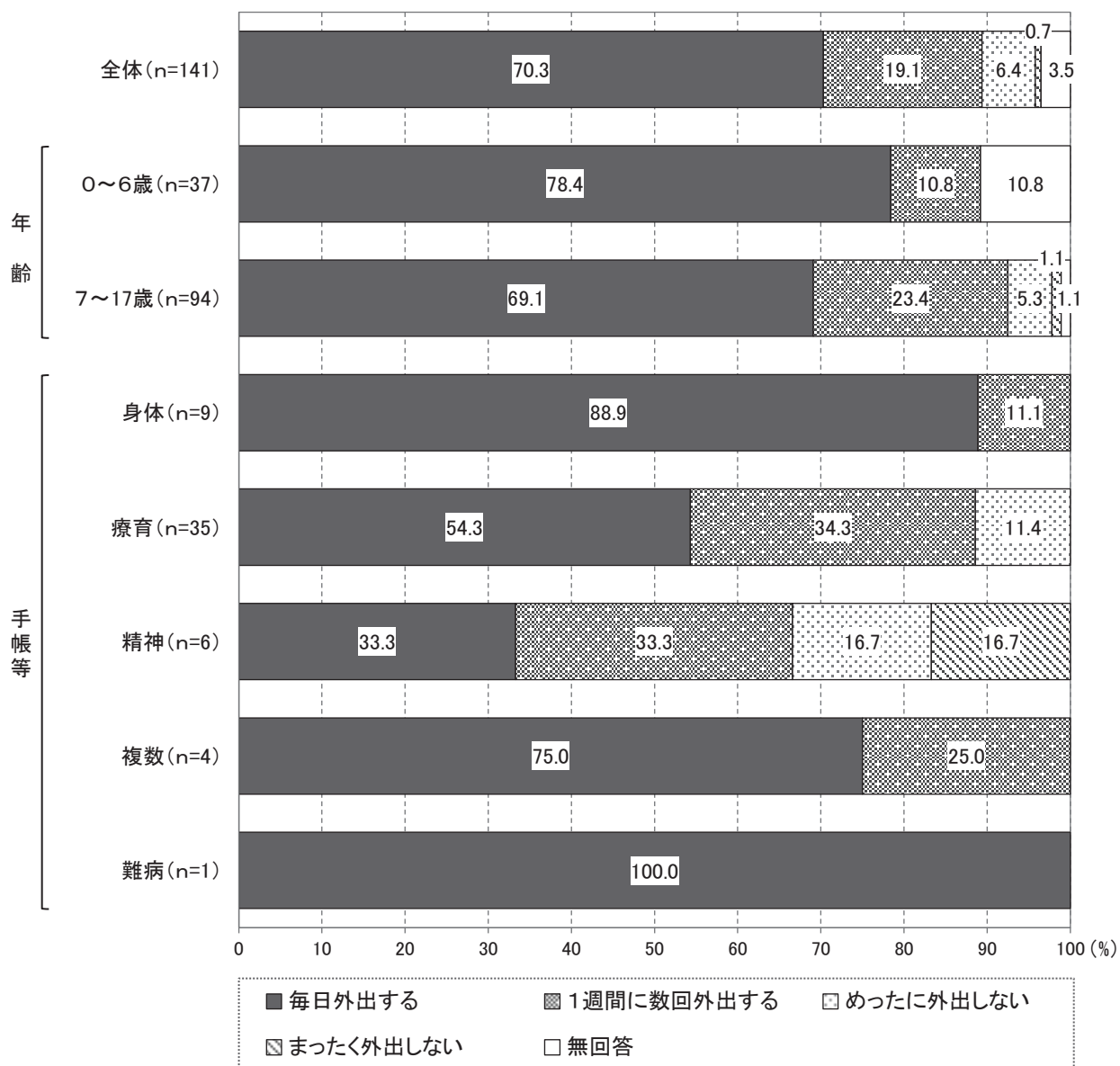
◆ポイント

学校等の卒業後の進路をまだ考えていない人が 43.4%、将来どのような暮らしをしたいかをまだ考えていない人が 23.4%となっており、これから先のことについて想定しきれていない方の割合が高くなっています。その一方、就労や進学を希望している人や、自立して生活したい人の割合も高まっていることから、障がいの状態に応じて自己実現に向かえるよう、ライフステージに応じた適切な情報提供や相談支援が必要とされます。

7. 日中活動について

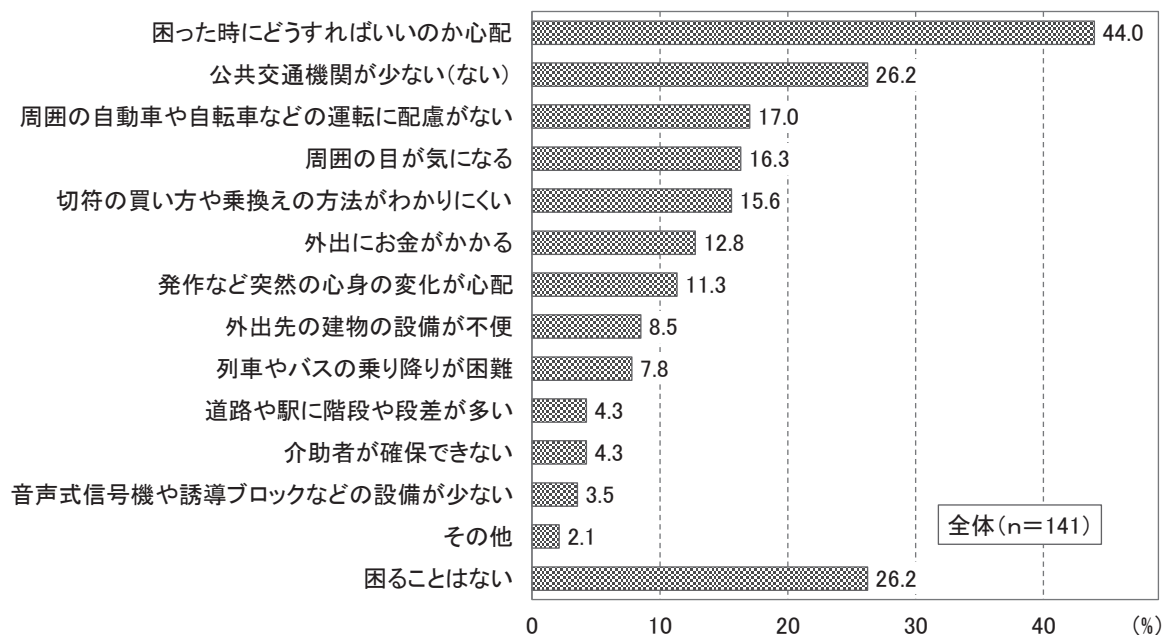
問 18 1 週間にどの程度外出しますか。

全体では、「毎日外出する」が 70.3%と最も高く、次いで、「1 週間に数回外出する」(19.1%)、「めったに外出しない」(6.4%) の順となっています。



問19 外出する時に困ることは何ですか。【複数回答可】

「困った時にどうすればいいのか心配」が44.0%と最も高く、次いで、「公共交通機関が少ない(ない)」(26.2%)、「周囲の自動車や自転車などの運転に配慮がない」(17.0%)の順となっています。



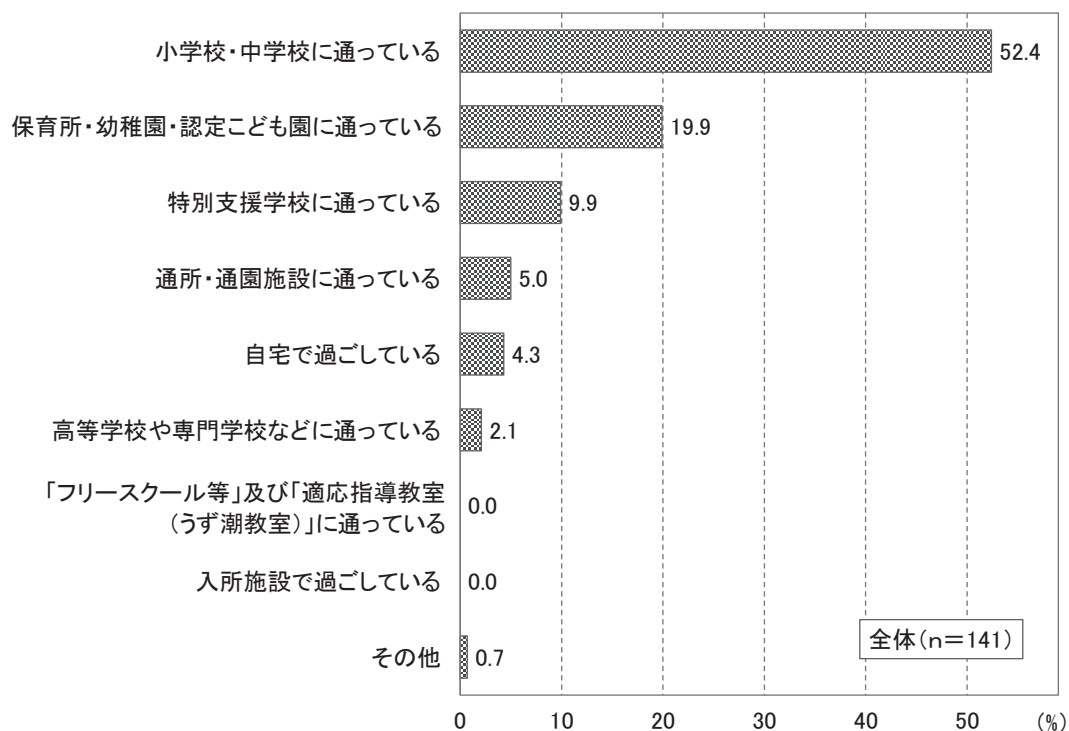
	(n=)	公共交通機関が少ない(ない)	列車やバスの乗り降りが困難	道路や駅に階段や段差が多い	外出先の建物の設備が不便	周囲の自動車や自転車などの運転に配慮がない	音声式信号機や誘導ブロックなどの設備が少ない	切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	介助者が確保できない	困った時にどうすればいいのか心配	外出にお金がかかる	発作など突然の心身の変化が心配	周囲の目が気になる	その他	困ることはない
全体	141	37 26.2%	11 7.8%	6 4.3%	12 8.5%	24 17.0%	5 3.5%	22 15.6%	6 4.3%	62 44.0%	18 12.8%	16 11.3%	23 16.3%	3 2.1%	37 26.2%
身体	9	5 55.6%	1 11.1%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
療育	35	13 37.1%	7 20.0%	5 14.3%	9 25.7%	9 25.7%	4 11.4%	6 17.1%	6 17.1%	21 60.0%	12 34.3%	10 28.6%	15 42.9%	0 0.0%	1 2.9%
精神	6	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%
複数	4	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

◆ポイント

外出したとき困ることについて、困ったときの対応や公共交通機関の少なさ、周囲の方の配慮等が上位に挙げられています。障がいのある人が地域の中で生活できるよう、障がいのある人への市民の理解を深めて、困っている人を自然と手助けできる機運を醸成するとともに、公共交通網の維持・充実にも取り組む必要があります。

問 20 平日の日中を主にどのように過ごしていますか。

全体では、「小学校・中学校に通っている」が52.4%と最も高く、次いで、「保育所・幼稚園・認定こども園に通っている」(19.9%)、「特別支援学校に通っている」(9.9%)の順となっています。

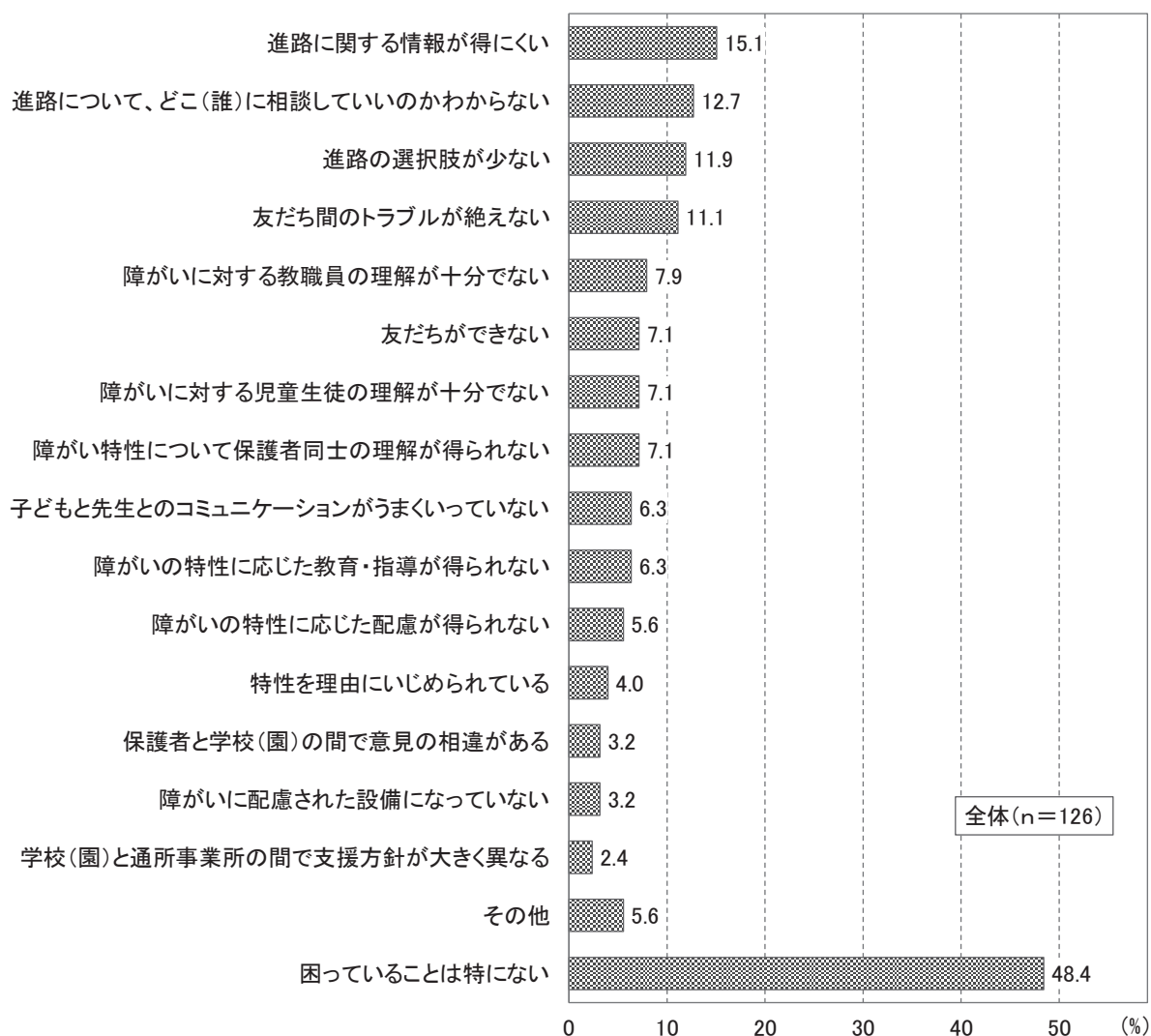


	(n=)	自宅で過ごしている	認定こども園・保育所・幼稚園・通っている	小学校・中学校に通っている	高等学校や専門学校などに通っている	特別支援学校に通っている	通所・通園施設に通っている	「フリースクール等」及び「適応指導教室(うず潮教室)」に通っている	入所施設で過ごしている	その他
全体	141	6 4.3%	28 19.9%	74 52.4%	3 2.1%	14 9.9%	7 5.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%
身体	9	0 0.0%	0 0.0%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
療育	35	1 2.9%	2 5.7%	9 25.7%	1 2.9%	14 40.0%	6 17.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
精神	6	1 16.7%	0 0.0%	3 49.9%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
複数	4	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 21

◆問 20 で「2. ～ 8.」を選んだ方。（「1. 自宅で過ごしている」以外を選んだ方。）
 学校や施設などで困っていることがありますか。【複数回答可】

学校や施設などで困っていることでみると、「進路に関する情報が得にくい」が 15.1%と最も高く、次いで、「進路について、どこ（誰）に相談していいのかわからない」（12.7%）、「進路の選択肢が少ない」（11.9%）の順となっています。



主なその他意見

- ・ 学校が遠く、送迎時間が長い。
- ・ 全介助が必要なため、将来入所できる施設がない。
- ・ 学校の老朽化があるため設備を整えてほしい。
- ・ グレーゾーンの子が安心して過ごせる制度がない。
- ・ 支援学級以外に通級など選択できる幅が少ない。
- ・ 職員の人数不足により加配ができない。

		進路に関する情報が得にくい	進路の選択肢が少ない	進路について、どこ（誰）に相談していいのかわからない	友だちができない	友だち間のトラブルが絶えない	特性を理由にいじめられている	障がいに対する児童生徒の理解が十分でない	子どもと先生とのコミュニケーションがうまくいっていない	障がい特性について保護者同士の理解が得られない	保護者と学校（園）の間で意見の相違がある	障がいに対する教職員の理解が十分でない	障がいの特性に応じた教育・指導が得られない	障がいの特性に応じた配慮が得られない	障がいに配慮された設備になっていない	学校（園）と通所事業所の間で支援方針が大きく異なる	その他	困っていることは特でない
	(n=)																	
全体	126	19 15.1%	15 11.9%	16 12.7%	9 7.1%	14 11.1%	5 4.0%	9 7.1%	8 6.3%	9 7.1%	4 3.2%	10 7.9%	8 6.3%	7 5.6%	4 3.2%	3 2.4%	7 5.6%	61 48.4%
身体	8	0 0.0%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 25.0%	4 50.0%
療育	32	5 15.6%	8 25.0%	2 6.3%	3 9.4%	2 6.3%	2 6.3%	3 9.4%	1 3.1%	4 12.5%	2 6.3%	1 3.1%	2 6.3%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.4%	15 46.9%
精神	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%
複数	4	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

8. 障がい福祉サービスなどの利用について

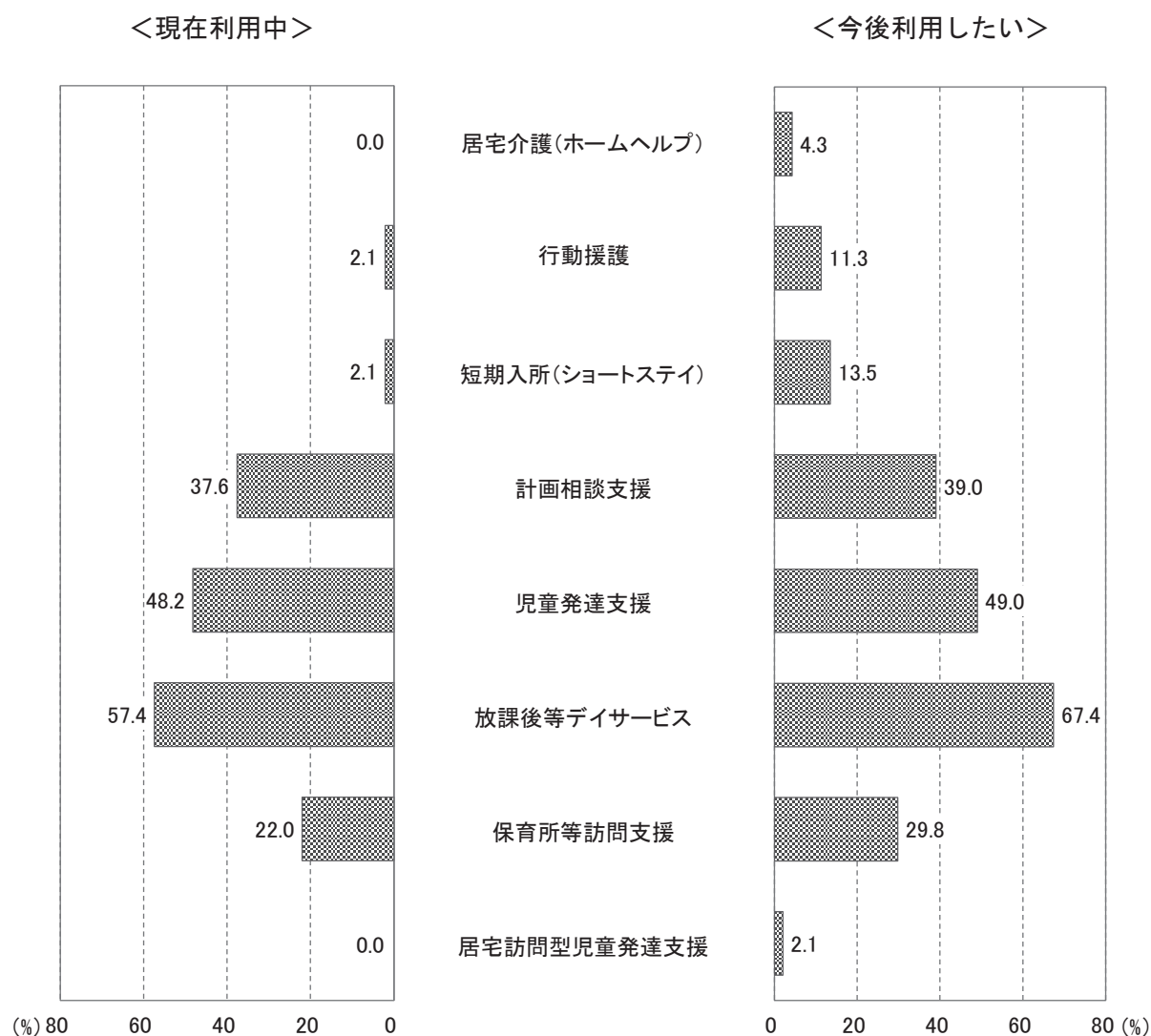
問 22

次の障がい福祉サービスについて、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。

【全体】（n=141）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が 57.4%と最も高く、次いで、「児童発達支援」（48.2%）、「計画相談支援」（37.6%）の順となっています。

また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が 67.4%と最も高く、次いで、「児童発達支援」（49.0%）、「計画相談支援」（39.0%）の順となっています。



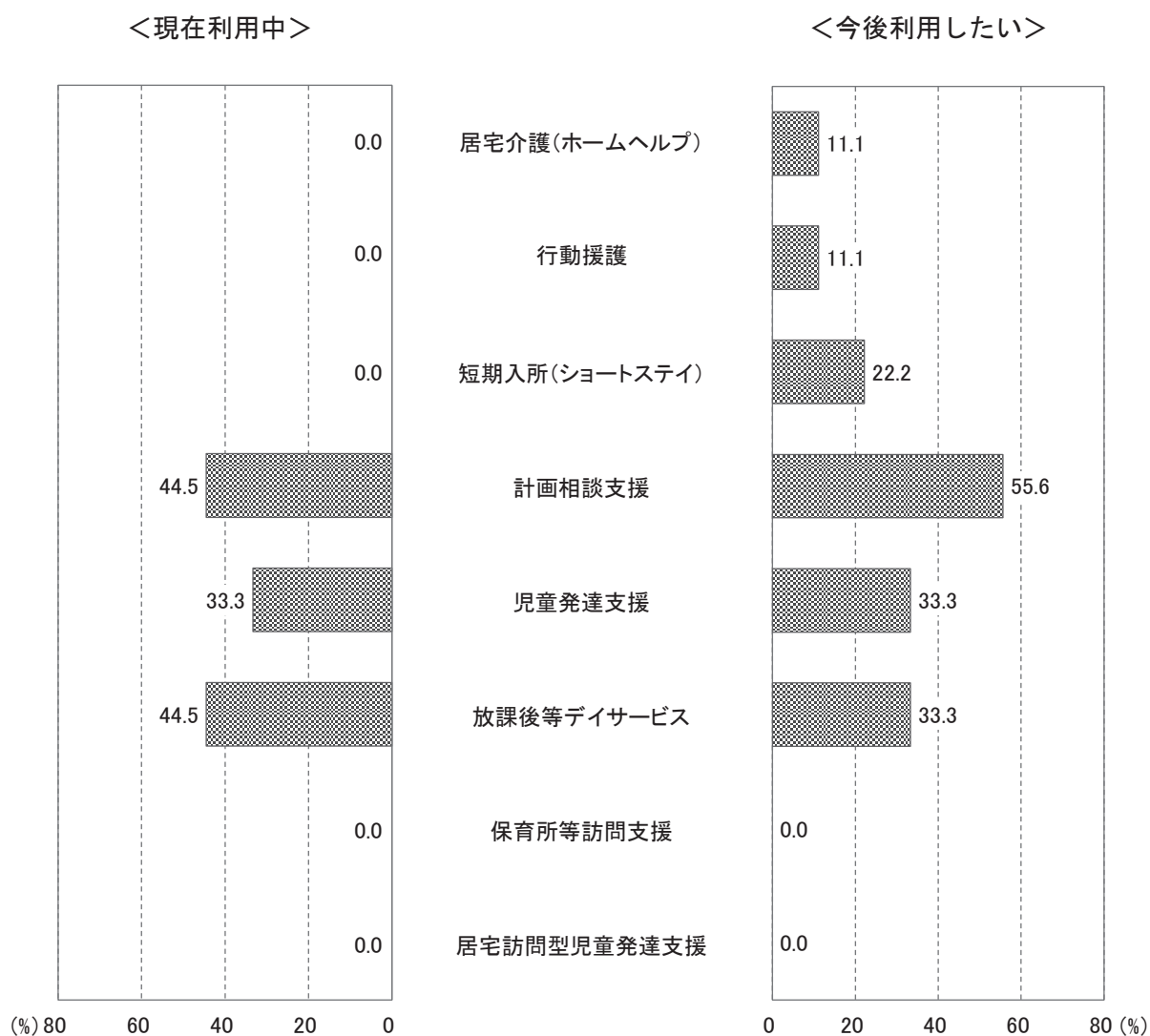
◆ポイント

現状のサービスの利用状況では、放課後等デイサービスが最も高く、次いで、児童発達支援、計画相談支援の順となっています。また、今後利用したいサービスでは、短期入所、行動援護にも利用ニーズが見られることから、これらのニーズを踏まえて、障がいのある人が必要ときに必要なサービスを利用できるよう、サービスの量と質の確保をしていくことが求められます。

【身体障がい者手帳所持者】（n=9）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」・「計画相談支援」が44.5%と同率で高く、次いで、「児童発達支援」（33.3%）の順となっています。

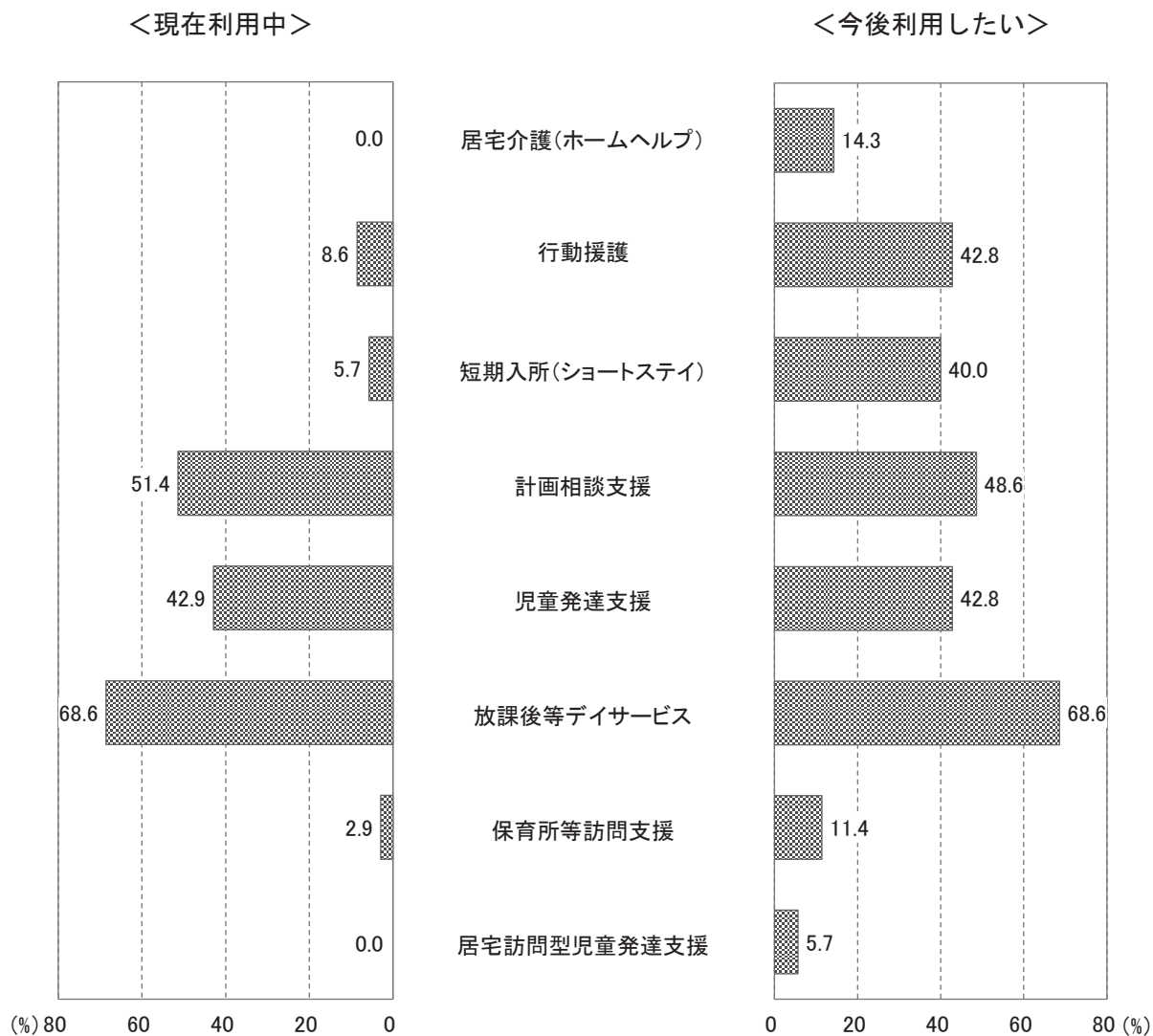
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が55.6%と最も高く、次いで、「児童発達支援」・「放課後等デイサービス」（33.3%で同率）、「短期入所（ショートステイ）」（22.2%）の順となっています。



【療育手帳所持者】（n=35）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が68.6%と最も高く、次いで、「計画相談支援」（51.4%）、「児童発達支援」（42.9%）の順となっています。

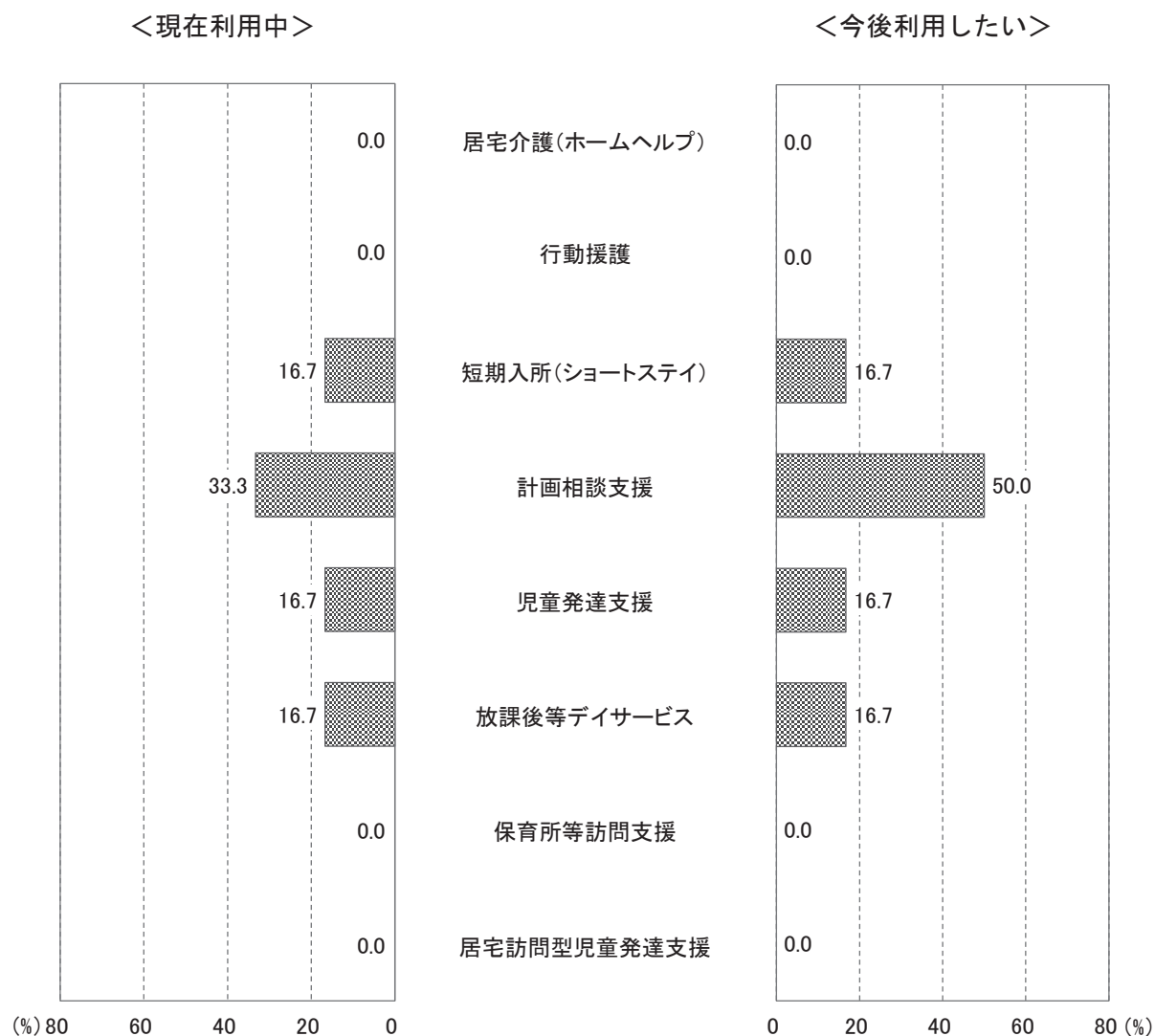
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「放課後等デイサービス」が68.6%と最も高く、次いで、「計画相談支援」（48.6%）、「行動援護」・「児童発達支援」（42.8%で同率）の順となっています。



【精神障がい者保健福祉手帳所持者】（n=6）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 33.3%と最も高く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」・「児童発達支援」・「放課後等デイサービス」（16.7%で同率）の順となっています。

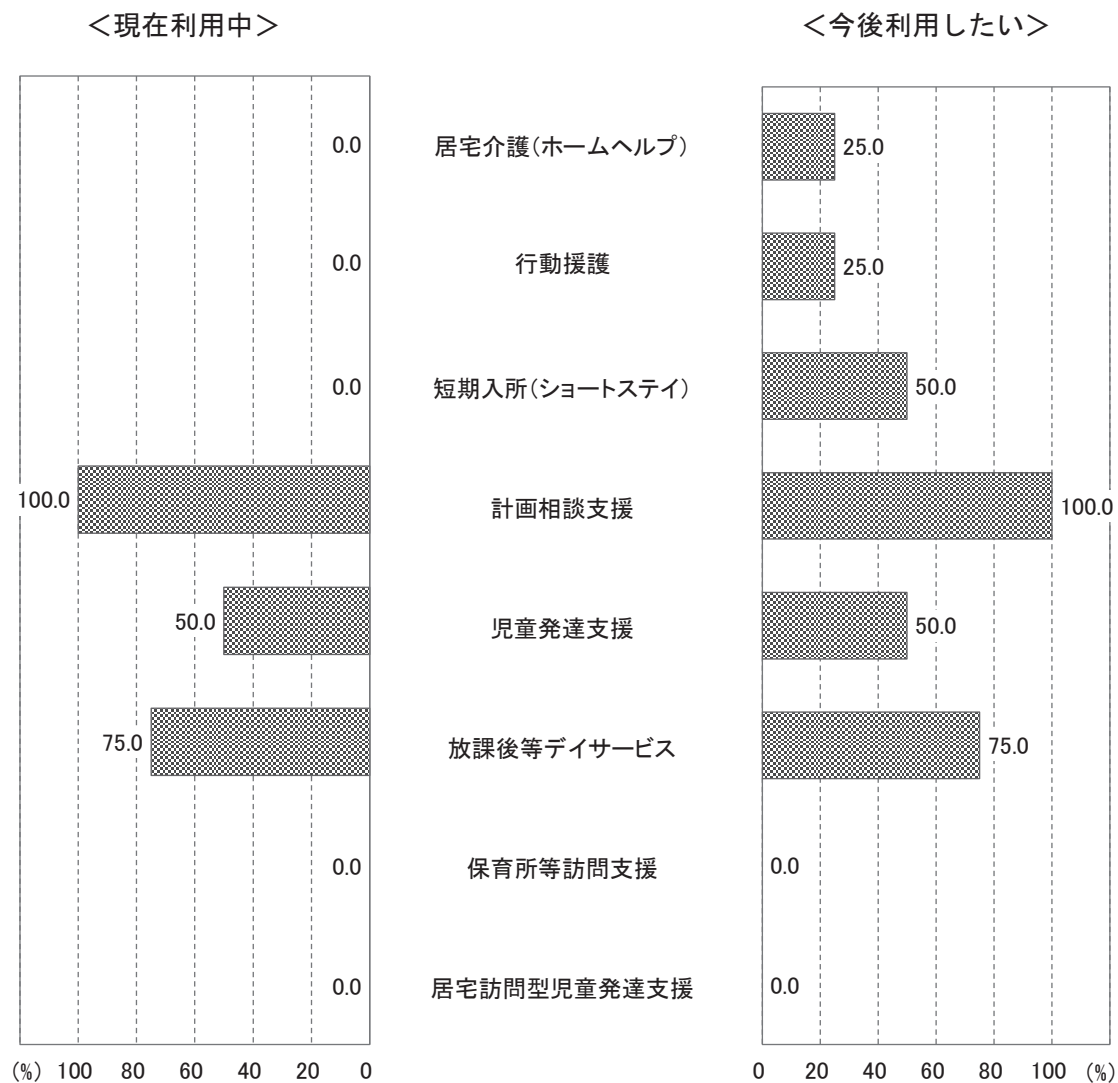
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が 50.0%と最も高く、次いで、「短期入所（ショートステイ）」・「児童発達支援」・「放課後等デイサービス」（16.7%で同率）の順となっています。



【複数所持者】（n=4）

現在利用中の障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が100.0%と最も高く、次いで、「放課後等デイサービス」（75.0%）、「児童発達支援」（50.0%）の順となっています。

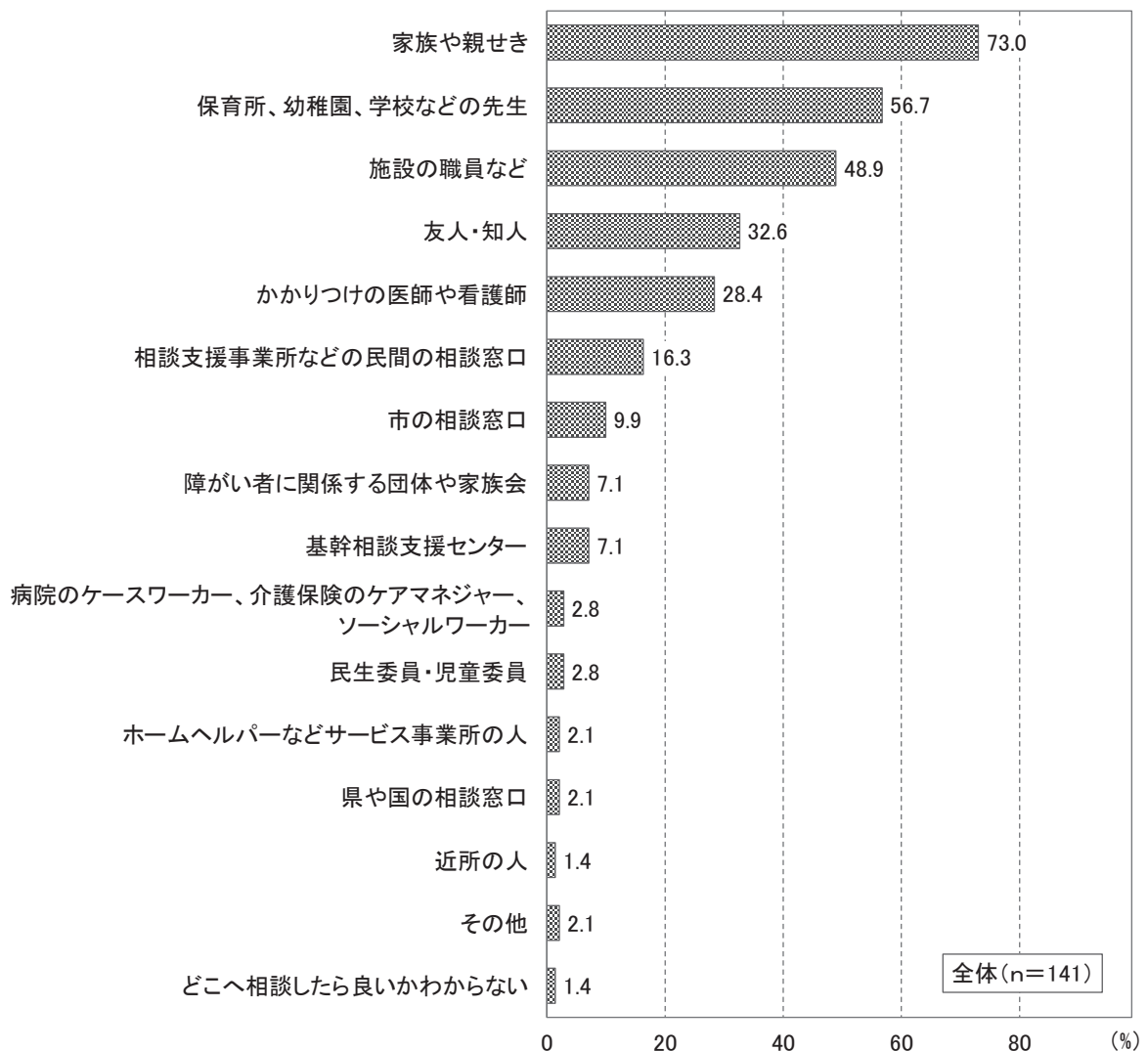
また、今後利用したい障がい福祉サービスについては、「計画相談支援」が100.0%と最も高く、次いで、「放課後等デイサービス」（75.0%）、「短期入所（ショートステイ）」・「児童発達支援」（50.0%で同率）の順となっています。



9. 相談相手や情報源について

問 23 普段、悩みや困ったことを誰（どこ）に相談しますか。【複数回答可】

「家族や親せき」が73.0%と最も高く、次いで、「保育所、幼稚園、学校などの先生」(56.7%)、「施設の職員など」(48.9%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 高校の特別支援コーディネーター。
- ・ インターネット上で知り合った人。
- ・ 放課後等デイサービスの職員。

◆ポイント

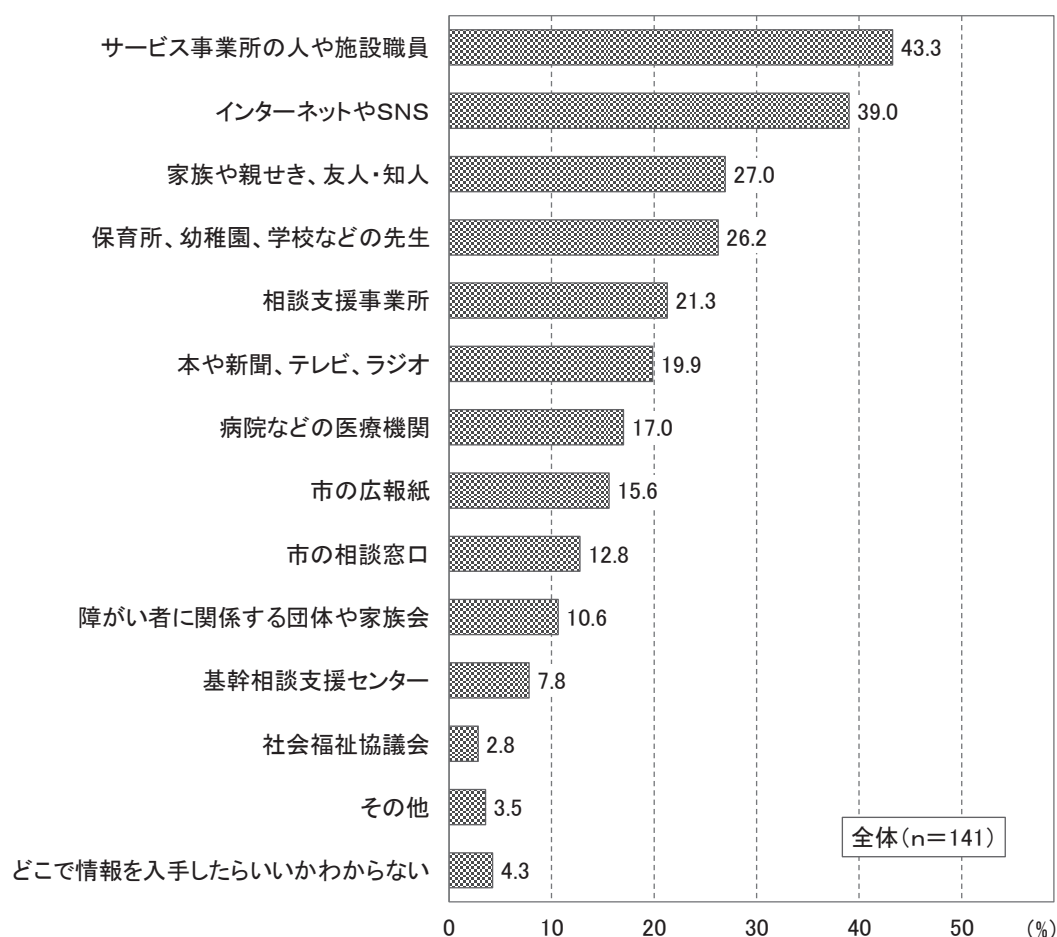
悩みや困ったことの相談相手について、家族や親せき、保育所、幼稚園、学校の先生、施設の職員の割合が高くなっています。一方、市の相談窓口については9.9%とそれほど高いとは言えない状況です。市として、障がいのある人の状態やニーズに対応した相談支援体制と窓口の職員の資質向上に努める必要があります。

		家族や親せき	友人・知人	近所の人	保育所、幼稚園、学校などの先生	施設の職員など	障がい者に関する団体や家族会	基幹相談支援センター	かかりつけの医師や看護師	病院のケースワーカー、介護保険のケアマネジャー、ソーシャルワーカー	相談支援事業所などの民間の相談窓口	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	民生委員・児童委員	市の相談窓口	県や国の相談窓口	どこへ相談したら良いかわからない	その他
	(n=)																
全体	141	103 73.0%	46 32.6%	2 1.4%	80 56.7%	69 48.9%	10 7.1%	10 7.1%	40 28.4%	4 2.8%	23 16.3%	3 2.1%	4 2.8%	14 9.9%	3 2.1%	2 1.4%	3 2.1%
身体	9	9 100.0%	5 55.6%	0 0.0%	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
療育	35	22 62.9%	11 31.4%	0 0.0%	15 42.9%	18 51.4%	8 22.9%	3 8.6%	12 34.3%	2 5.7%	7 20.0%	1 2.9%	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	2 5.7%	0 0.0%
精神	6	4 66.7%	2 33.3%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%
複数	4	4 100.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 24

障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。
【複数回答可】

「サービス事業所の人や施設職員」が43.3%と最も高く、次いで、「インターネットやSNS」(39.0%)、「家族や親せき、友人・知人」(27.0%)の順となっています。



◆ポイント

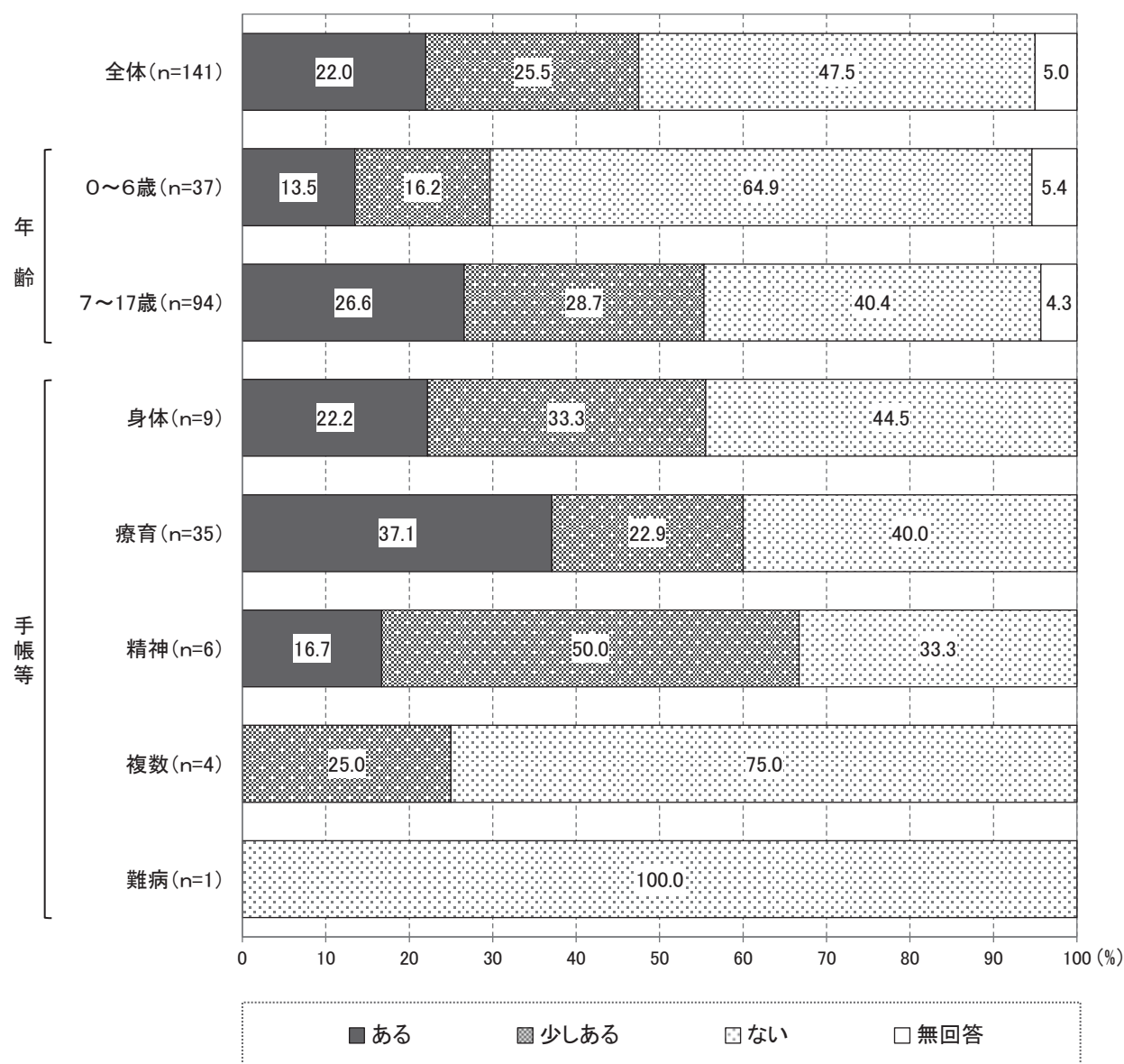
情報の入手先について、サービス事業所の人や施設職員、インターネットやSNSが高い割合となっており、市の広報紙や市の相談窓口は割合が高いとは言えない状況です。しかし、障がいのある人や介助者の状態によっては、市のホームページ等による情報提供のほかに広報紙等の情報提供も必要であることから、引き続き様々な媒体による分かりやすい情報発信に努める必要があります。

		本や新聞、テレビ、ラジオ	インターネットやSNS	市の広報紙	家族や親せき、友人・知人	障がい者に関係する団体や家族会	サービス事業所の人や施設職員	保育所、幼稚園、学校などの先生	病院などの医療機関	基幹相談支援センター	社会福祉協議会	相談支援事業所	市の相談窓口	その他	どこで情報を入手しない
	(n=)														
全体	141	28 19.9%	55 39.0%	22 15.6%	38 27.0%	15 10.6%	61 43.3%	37 26.2%	24 17.0%	11 7.8%	4 2.8%	30 21.3%	18 12.8%	5 3.5%	6 4.3%
身体	9	2 22.2%	4 44.4%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	1 11.1%
療育	35	8 22.9%	16 45.7%	3 8.6%	16 45.7%	8 22.9%	19 54.3%	12 34.3%	9 25.7%	3 8.6%	1 2.9%	8 22.9%	3 8.6%	2 5.7%	0 0.0%
精神	6	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%
複数	4	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	3 75.0%	2 50.0%	4 100.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%

10. 権利擁護について

問 25 障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。

全体では、「ない」が47.5%と最も高く、次いで、「少しある」(25.5%)、「ある」(22.0%)の順となっています。



◆ポイント

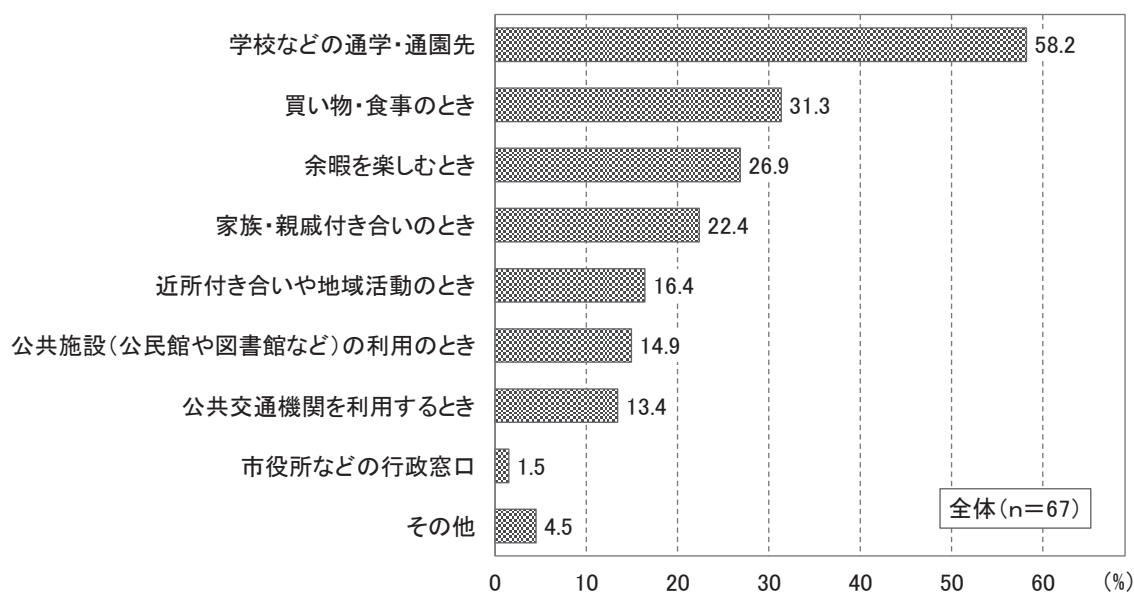
差別や嫌な思いをした経験について、“ある＋少しある”の割合は47.5%と約2人に1人が経験しているという結果になりました。障がいによる差別や偏見をなくすため、障がいに関する正しい理解の普及啓発に努め、市民の意識向上を図る必要があります。

問 26

◆問 25 で「1.」または「2.」(ある)を選んだ方。

どの場面や場所で差別や嫌な思いをしましたか。【複数回答可】

「学校などの通学・通園先」が 58.2%と最も高く、次いで、「買い物・食事のとき」(31.3%)、「余暇を楽しむとき」(26.9%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 病院。
- ・ 他人の目。
- ・ 通園先見学、探し先。

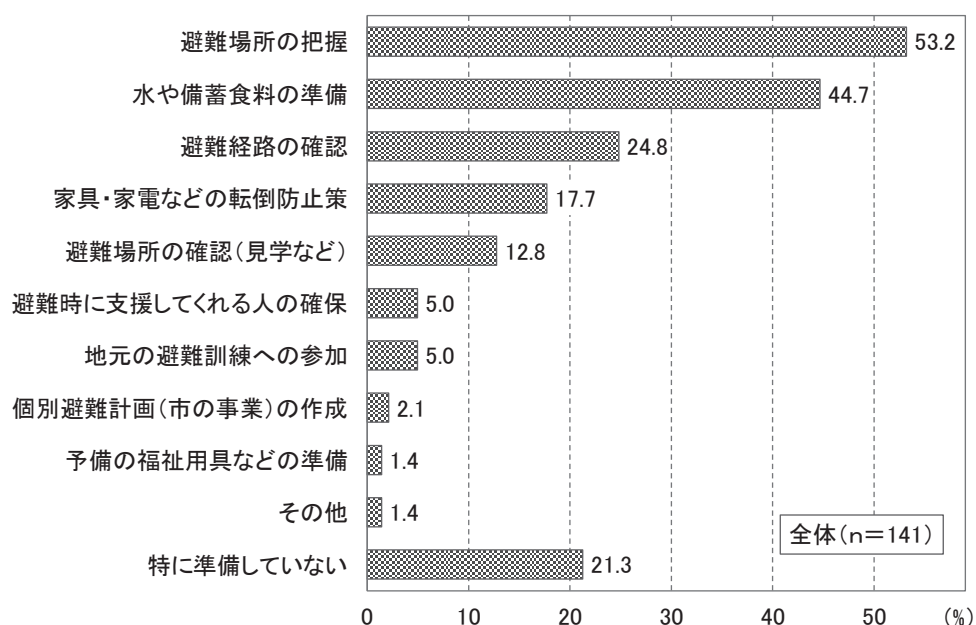
	(n=)	学校などの通学・通園先	市役所などの行政窓口	余暇を楽しむとき	近所付き合いや地域活動のとき	公共交通機関を利用するとき	買い物・食事のとき	家族・親戚付き合いのとき	公共施設(公民館や図書館など)の利用のとき	その他
全体	67	39 58.2%	1 1.5%	18 26.9%	11 16.4%	9 13.4%	21 31.3%	15 22.4%	10 14.9%	3 4.5%
身体	5	4 80.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%
療育	21	7 33.3%	1 4.8%	8 38.1%	6 28.6%	8 38.1%	12 57.1%	4 19.0%	8 38.1%	1 4.8%
精神	4	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
複数	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

11. 災害時の避難について

問 27

大地震や大洪水などの災害時に備えて、普段から準備していることはありますか。【複数回答可】

「避難場所の把握」が53.2%と最も高く、次いで、「水や備蓄食料の準備」(44.7%)、「避難経路の確認」(24.8%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 保育園での避難訓練参加。

	(n=)	避難場所の把握	避難場所(見学など)の確認	避難経路の確認	避難時に支援してくれる人の確保	地元の避難訓練への参加	水や備蓄食料の準備	予備の福祉用具などの準備	家具・家電などの転倒防止策	(市の事業)個別避難計画作成	その他	特に準備していない
全体	141	75 53.2%	18 12.8%	35 24.8%	7 5.0%	7 5.0%	63 44.7%	2 1.4%	25 17.7%	3 2.1%	2 1.4%	30 21.3%
身体	9	4 44.4%	2 22.2%	4 44.4%	2 22.2%	0 0.0%	5 55.6%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	3 33.3%
療育	35	17 48.6%	4 11.4%	9 25.7%	3 8.6%	0 0.0%	18 51.4%	2 5.7%	13 37.1%	3 8.6%	0 0.0%	7 20.0%
精神	6	5 83.3%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
複数	4	2 50.0%	1 25.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%

問 28 災害時に困ることは何ですか。【複数回答可】

「避難による体調や情緒の不安定」が 45.4%と最も高く、次いで、「避難場所の設備や生活環境への不安」(36.9%)、「周囲とコミュニケーションがとれない」(27.0%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 準備にお金がかかる。

◆ポイント

災害時に困ることについて、体調や情緒の不安定、避難場所の設備や生活環境への不安、周囲とのコミュニケーションへの不安が挙げられており、スムーズに避難が行える支援に加えて、福祉避難所を含む避難所の場所や体制の確保に努める必要があります。

		投薬や治療が受けられない	福祉用具の使用が困難になる	福祉用具の入手に困る	救助を求めることができない	安全な場所までスムーズに避難できない	被害や避難場所の情報の入手に困る	周囲とコミュニケーションがとれない	避難場所の設備や生活環境への不安	家族以外の支援がないと避難できない	近所に避難を助けてくれない人がいない	避難が必要かどうか判断できない	障がいのある本人が避難を拒否する	避難による体調や情緒の不安定	避難に備えて何を準備していないのかわからない	その他	特になし
	(n=)																
全体	141	27 19.1%	1 0.7%	2 1.4%	22 15.6%	30 21.3%	20 14.2%	38 27.0%	52 36.9%	20 14.2%	17 12.1%	29 20.6%	13 9.2%	64 45.4%	26 18.4%	3 2.1%	21 14.9%
身体	9	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	2 22.2%
療育	35	7 20.0%	1 2.9%	1 2.9%	11 31.4%	15 42.9%	8 22.9%	19 54.3%	20 57.1%	10 28.6%	9 25.7%	10 28.6%	9 25.7%	19 54.3%	8 22.9%	1 2.9%	2 5.7%
精神	6	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%
複数	4	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 29	避難場所にあったらいいと思う設備や備品などがありますか。
------	------------------------------

主な意見

① あったらいいと思う備品

- ・ 生理用品。おむつ。粉ミルク。食料。子ども用ヘッドホンや耳栓。筆記のためのメモ、筆記用具。補聴器用電池。音声パッド。iPad。DVD プレーヤー。地図。フリーWi-Fi。電源。家族ごとのテント。布団。薬。ゲーム。子ども用のおもちゃ。集中したり気を紛らわせるもの。カイロ。

② あったらいいと思う設備

- ・ 入浴施設。トイレ。（7～17 歳 ）他
- ・ 一時的にでも 1 人で過ごせる場所。（7～17 歳 ）他
- ・ プライバシーを守ることができるついたてなどの目隠し。（7～17 歳 ）他
- ・ 携帯電話など充電用の発電機。（7～17 歳 ）他
- ・ 遊べるところ。（7～17 歳 ）
- ・ 大きな音・声がしない場所。（7～17 歳 ）

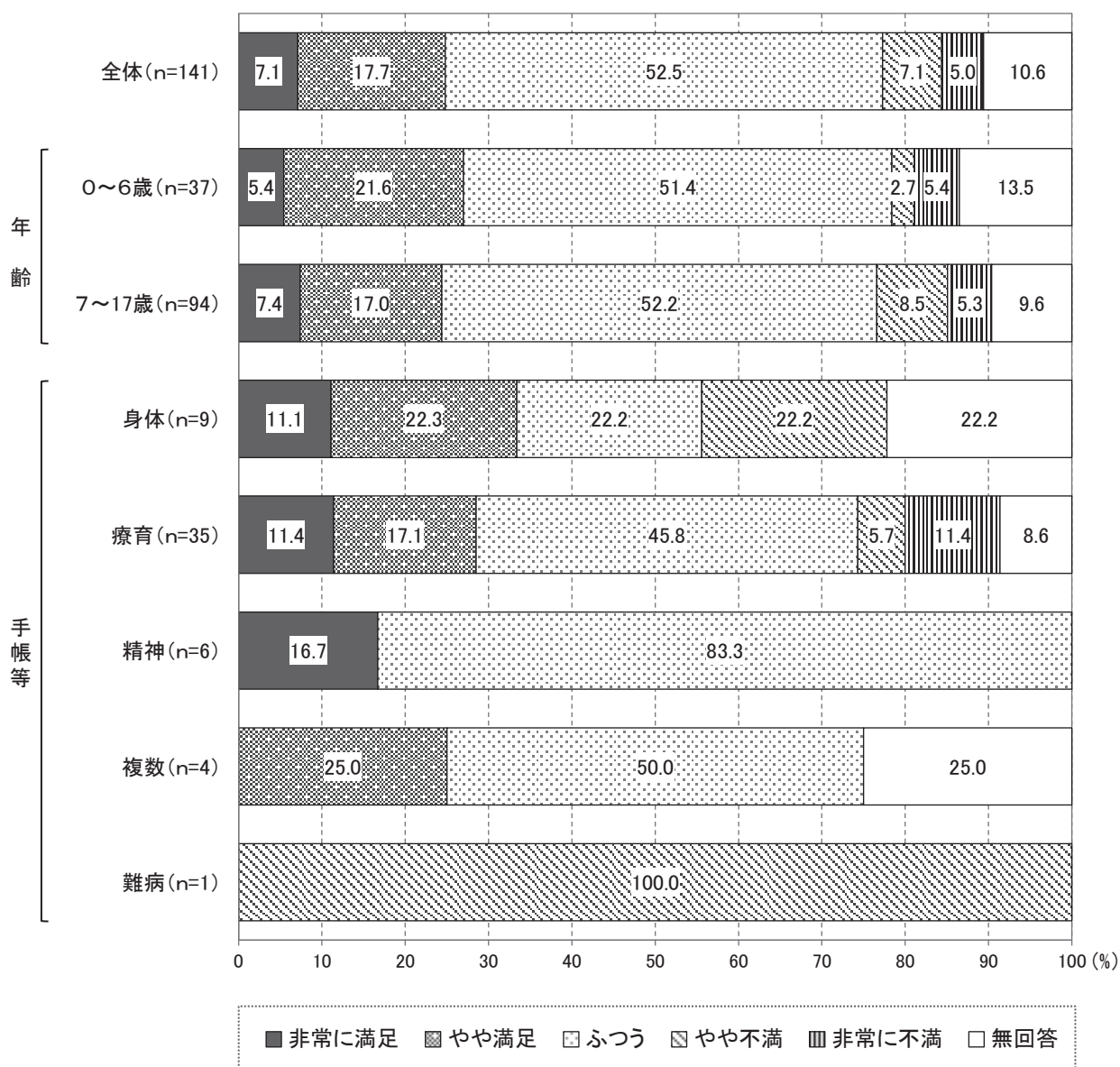
③ その他の意見

- ・ そもそも避難ができないため、支援学校が避難場所になってくれれば嬉しい。（7～17 歳 療育）

12. 本市の施策について

問 30 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。

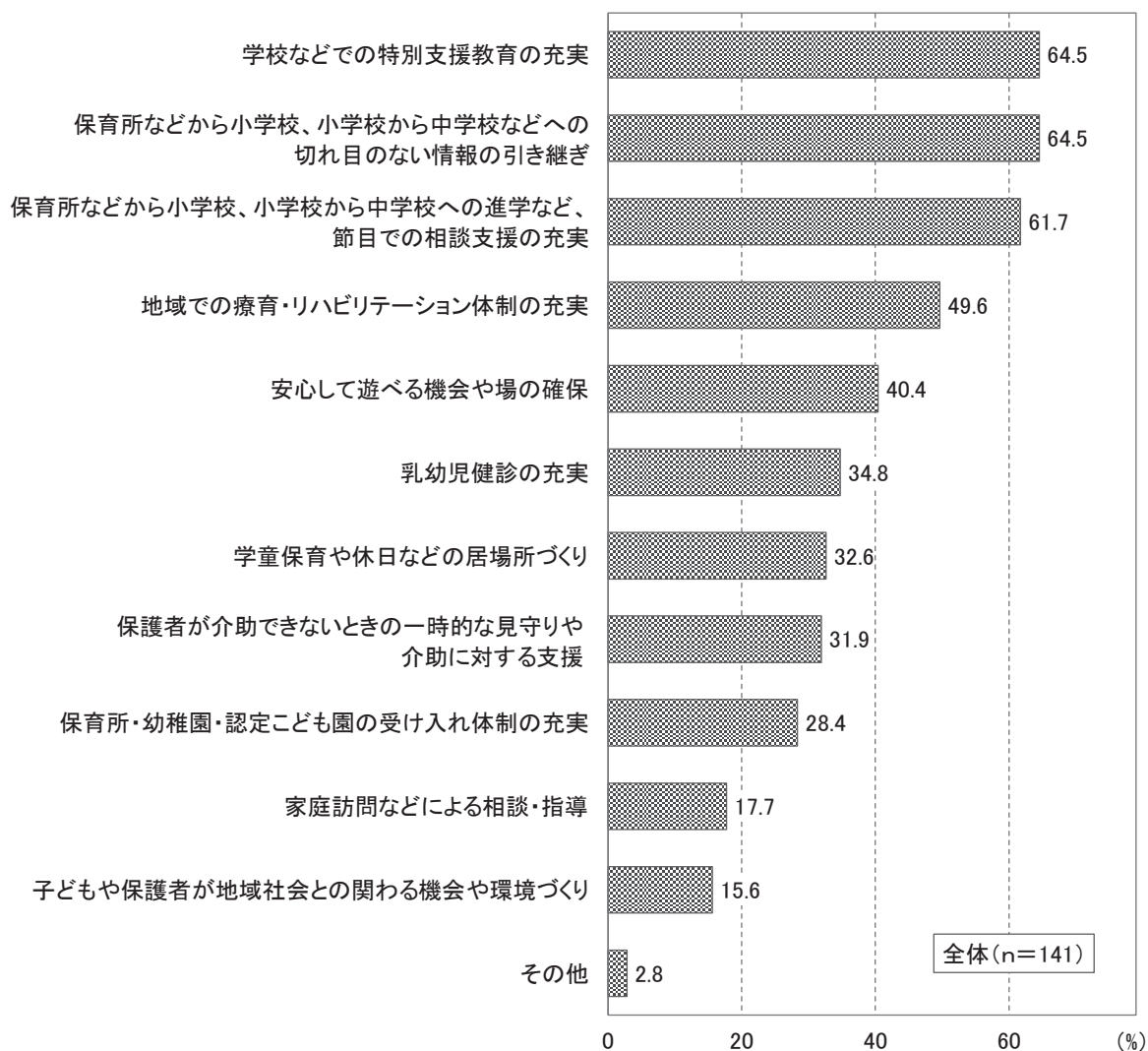
全体では、「ふつう」が 52.5%と最も高く、次いで、「やや満足」(17.7%)、「非常に満足」・「やや不満」(7.1%で同率) の順となっています。



問 31

子どもの発育・発達のために、特に重要と思う取り組みは何ですか。
【複数回答可】

「学校などでの特別支援教育の充実」と「保育所などから小学校、小学校から中学校などへの切れ目のない情報の引き継ぎ」が同率の 64.5%と最も高く、次いで、「保育所などから小学校、小学校から中学校への進学など、節目での相談支援の充実」(61.7%)の順となっています。



主なその他意見

- ・ 保育園や幼稚園で発達の遅れや気になることがあったときに保護者へ伝えるシステム。
- ・ 学童を学校の敷地内でしてほしい。学童までの移動が危険。
- ・ 幼稚園から小学校への引継ぎができていない。小中学校の支援学級の先生の障がいの理解がない。

◆ポイント

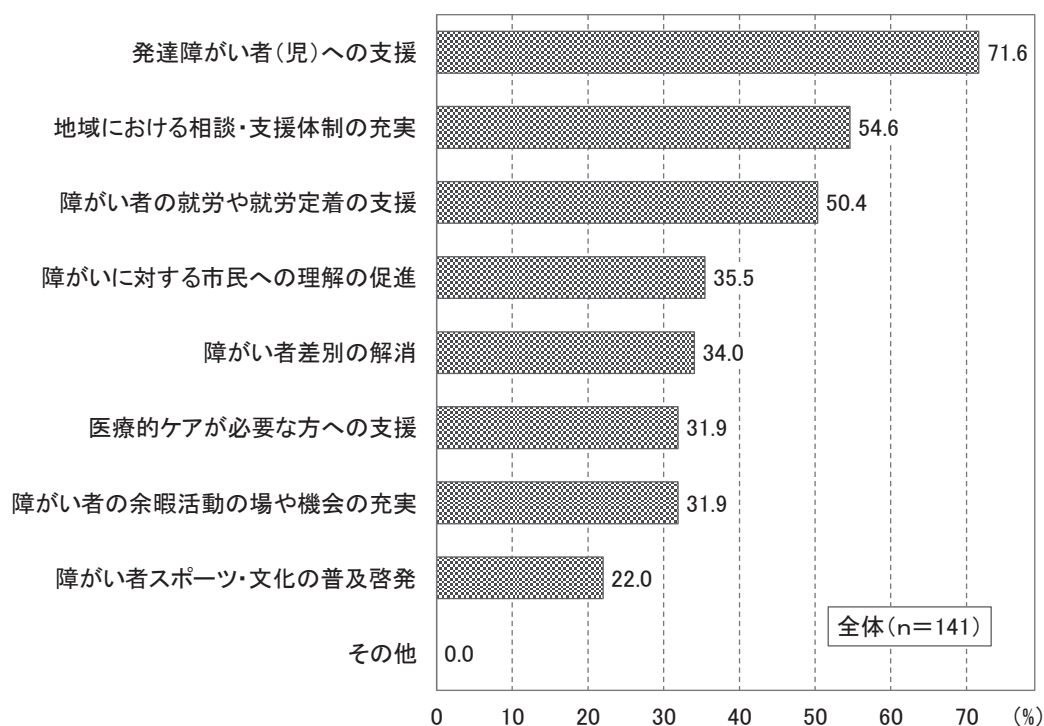
市の施策の満足度について、“非常に満足＋やや満足”は 24.8%、“やや不満＋非常に不満”は 12.1%となっています。また、優先すべき施策では、発達障がい者（児）への支援、地域における相談・支援体制の充実、就労に関する支援の充実を求める声が多いことから、これらの点に着目して、障がい福祉施策の満足度の向上に努める必要があります。

		乳幼児健診の充実	家庭訪問などによる相談・指導	学童保育や休日などの居場所づくり	安心して遊べる機会や場の確保	学校などでの特別支援教育の充実	子どもや保護者が地域社会との関わり 機会や環境づくり	保育所などから小学校、小学校から中学校 への進学など、節目での相談支援の充実	保育所などから小学校、小学校から中学校 などへの切れ目のない情報の引き継ぎ	地域での療育・リハビリテーション 体制の充実	保育所・幼稚園・認定こども園の 受け入れ体制の充実	保護者が介助できないときの一時的な 見守りや介助に対する支援	その他
	(n=)												
全体	141	49 34.8%	25 17.7%	46 32.6%	57 40.4%	91 64.5%	22 15.6%	87 61.7%	91 64.5%	70 49.6%	40 28.4%	45 31.9%	4 2.8%
身体	9	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%
療育	35	9 25.7%	6 17.1%	13 37.1%	13 37.1%	23 65.7%	8 22.9%	22 62.9%	23 65.7%	22 62.9%	10 28.6%	18 51.4%	1 2.9%
精神	6	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	4 66.7%	3 50.0%	1 16.7%	4 66.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
複数	4	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 32

障がいのある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。【複数回答可】

「発達障がい者（児）への支援」が71.6%と最も高く、次いで、「地域における相談・支援体制の充実」（54.6%）、「障がい者の就労や就労定着の支援」（50.4%）の順となっています。



	(n=)	地域における相談・支援体制の充実	医療的ケアが必要な方への支援	障がい者の就労や就労定着の支援	障がい者の余暇活動の充実や場	障がいに対する市民への理解の促進	障がい者差別の解消	発達障がい者（児）への支援	障がい者スポーツ・文化の普及啓発	その他
全体	141	77 54.6%	45 31.9%	71 50.4%	45 31.9%	50 35.5%	48 34.0%	101 71.6%	31 22.0%	0 0.0%
身体	9	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	0 0.0%
療育	35	17 48.6%	13 37.1%	20 57.1%	15 42.9%	15 42.9%	15 42.9%	25 71.4%	11 31.4%	0 0.0%
精神	6	4 66.7%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%
複数	4	2 50.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

主な自由記述

- ・ 子どもの集団療育の場所やデイサービスの増設をしてほしい。（０～６歳）
- ・ 他の市町村に比べるとデイサービス施設の数が少なすぎる。短期入所も国府町など片道約１時間かかるので、鳴門市内に数件あれば親も子も楽になる。（７～１７歳 療育）
- ・ 療育を受けたくても施設が満員で入れない。（７～１７歳）
- ・ 市町村によって福祉サービスが違う。他市では児童も移動支援が利用できると聞いた。鳴門市も充実させてほしい。（７～１７歳 療育）
- ・ 療育に通っているが、今通っている場所が計画案を書けない療育場である。計画案だけ違う療育の場所で書いてもらっており、通っている場所で書いてほしい。（７～１７歳）
- ・ 共働きで仕事をしないと生活ができないが、通所施設の利用できる時間が短い。安心して余暇活動ができる場があまりない。障がい児に特化した保育園がほしい。ショートステイできる場が少ない。障がい者（児）の家族のケアが少ない。（７～１７歳 療育）
- ・ 施設やデイサービスなど、親が自分で見つけなければならないので少し負担だ。専門の方など、日頃の様子を見て仲介などにもっと入っていただきたい。（０～６歳）
- ・ どこに相談するのかが分かりにくい。こんな援助があるなど、情報を個別に送るなどしていただけるとうれしい。（７～１７歳 身体）他
- ・ 中学で発達障がい（学習障がい）が診断された後、具体的な支援を受けたり相談をしたりということが十分にできず、たらいまわしになった。診断者が少ない事例でも全国的な取り組みへつないでもらい、前向きになれる対応をしていただきたかった。（７～１７歳 精神）
- ・ 子どもの将来についてどこに相談したらよいかわからない。幼児のことは相談しやすいが大きくなる子どもは相談しにくい。（７～１７歳）
- ・ 中学卒業後の進学などについての詳しい情報や相談窓口がほしい。（７～１７歳）
- ・ 自分から情報を集めなければ、どこに何があるのかどういう支援を受けたらよいのかわからない。乳幼児健診はしっかり見てくれた印象はあるが、その後は保護者任せと思うので定期的なフォローやわかりやすい情報の提供をしてほしい。（７～１７歳）
- ・ 現在、小学校の支援学校に通っている。今後、中学・高校に進学するにつれて、どのような選択肢と制度があるのかどのように備えをしておくかなどの情報がなかなか手に入らない。年齢に合わせたサポートをしっかりと提供していただきたいが、長いライフステージを通して相談できる場所を設けてほしい。（－）
- ・ 保育所、認定こども園など、健常児含め受入体制が整っていない。大切な発達が伸びる時期、チャンスを逃すことになることもわかってほしい。（０～６歳）
- ・ 重度知的障がいので地元の小学校に通わすことができなかった。鳴門市に支援学校がない。これからインクルーシブ教育が求められるなら支援学校ではなく、教員や地域住民の障がいへの理解と知識が必要。見通しの持たせるアプローチの仕方・環境改善で意識の持ち方は１８０度変わってくる。新任採用される教員に２～３年間の特別支援学校への転任などを経験してもらうのはどうか。手法や手立てが学べると思う。新しいシステムや施設がほしいわけではなく、理解のある人材の育成に力をいれてほしい。（７～１７歳 療育）

- ・ 保育園、小学校、中学校の先生が障がい児の利用している施設のことや関係している人のことを知らないことが多いため、知る機会を設けてはどうか。（7～17 歳）
- ・ 保育士が障がいのことを保護者へ伝えにくいから言えないという現場も見えてきた。伝えにくいから伝えられないことで療育が遅れてしまった子どももたくさん見てきた。このシステムをどうにか変える対策が必要だ。（7～17 歳）
- ・ 学童の職員への正しい知識の付与。発達障がいについて理解していない人がある。（7～17 歳）
- ・ もっと障がい者（児）のことを考えてほしい。本当に体力的にも精神的にも限界で生活も子育てもしんどい。（7～17 歳 療育）
- ・ 将来どのように収入を得て生活していけばよいのかわからないため教えてほしい。（7～17 歳 療育）
- ・ 複数の障がい児を育てている家庭に経済的支援をもっとしてほしい。重度と軽度の支援の差がありすぎる。軽度だからと負担や苦労は変わらない。軽度だから対象外というのは不平等だ。（7～17 歳 療育）
- ・ 気軽に参加できるスポーツ交流など、子どもでも参加しやすいイベントがあればよいと思う。（7～17 歳 精神）
- ・ 障がい者（児）の支援は必要だが、難病の方への支援がないのが理解できない。（7～17 歳）
- ・ 学校で生活するための知識（お金、性について）を教えてほしい。（7～17 歳）

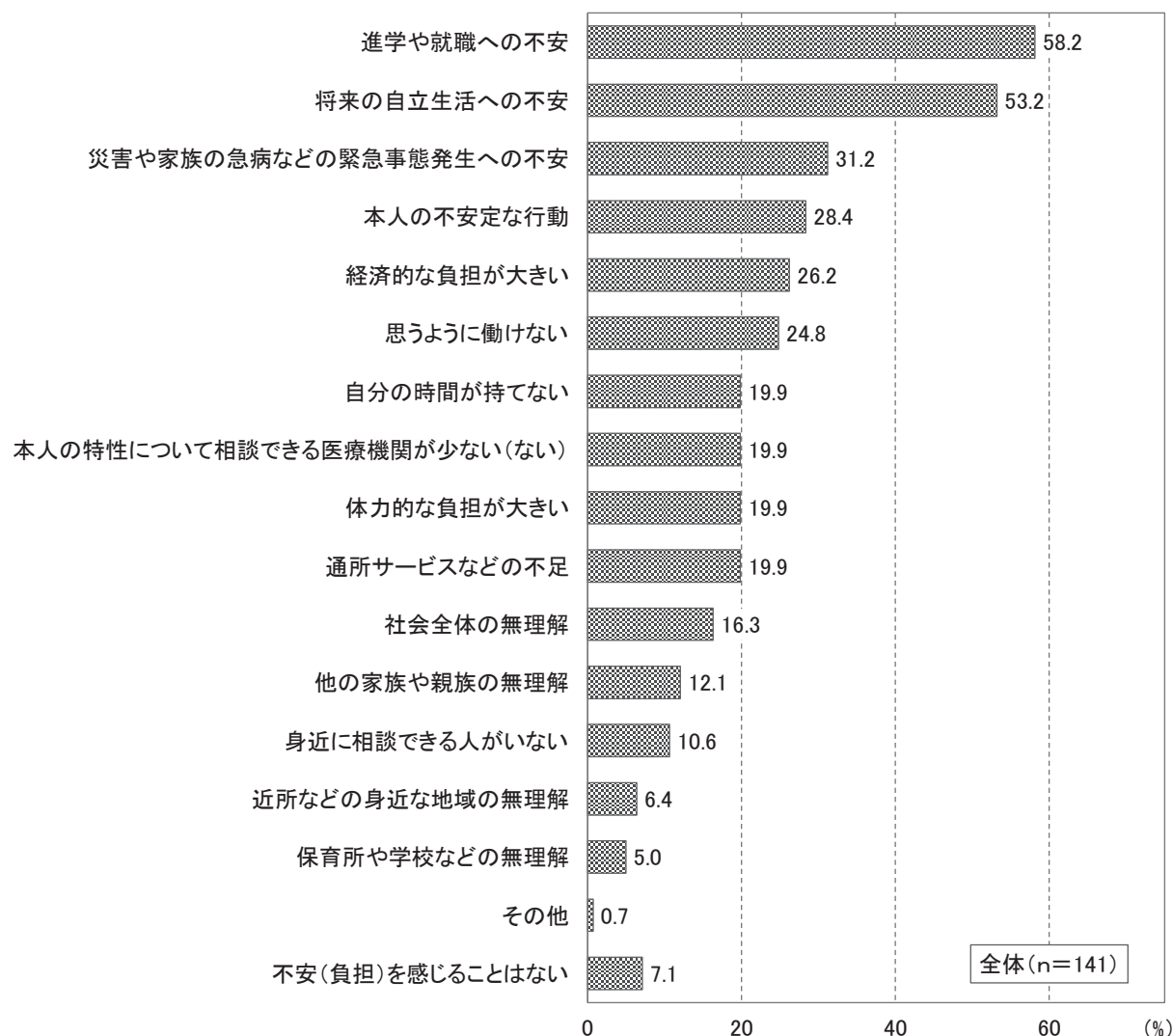
13. お子さまの養育（支援）について

問 34

◆主にお子さまの養育（支援）を行っている方。

お子さまを養育（支援）していることで、現在、不安（または負担）に感じていることはありますか。【複数回答可】

「進学や就職への不安」が58.2%と最も高く、次いで、「将来の自立生活への不安」（53.2%）、「災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安」（31.2%）の順となっています。



主なその他意見

- ・ 親に何かあったときの不安。

◆ポイント

子どもに対する不安や負担等について、進学や就職、将来の自立生活の割合が高くなっており、緊急事態発生への不安や思うように働けない等も上位に挙げられています。身近な支え合いから専門的な支援まで、重層的な連携支援体制のもとに、介助者の不安や負担等を和らげられ、障がいのある人が個性や能力を発揮できる社会の実現に向けて取り組みを進める必要があります。

		他の家族や親族の無理解	近所などの身近な地域の無理解	保育所や学校などの無理解	社会全体の無理解	自分の時間が持てない	思うように働けない	身近に相談できる人がいない	経済的な負担が大きい	本人の特性について相談できる医療機関が少ない(ない)	災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安	本人の不安定な行動	体力的な負担が大きい	進学や就職への不安	将来の自立生活への不安	通所サービスなどの不足	その他	不安(負担)を感じることはない
	(n=)																	
全体	141	17 12.1%	9 6.4%	7 5.0%	23 16.3%	28 19.9%	35 24.8%	15 10.6%	37 26.2%	28 19.9%	44 31.2%	40 28.4%	28 19.9%	82 58.2%	75 53.2%	28 19.9%	1 0.7%	10 7.1%
身体	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	6 66.7%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%
療育	35	7 20.0%	5 14.3%	2 5.7%	9 25.7%	10 28.6%	14 40.0%	6 17.1%	14 40.0%	12 34.3%	18 51.4%	11 31.4%	15 42.9%	18 51.4%	20 57.1%	11 31.4%	1 2.9%	1 2.9%
精神	6	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	5 83.3%	4 66.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
複数	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	3 75.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	4 100.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
難病	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

主な自由記述

- ・施設が少なく入れるかどうかわからないので増やしてほしい。（0～6歳 療育）他
- ・自分で鍵を開け外に出ようとするので、何が1番よいのかいろいろな対策・ツールを知りたい。（0～6歳 療育）
- ・通院で長距離運転をするなど、県外まで行っているところもある。車のガソリンの補助があるとかなり助かる。（0～6歳 複数）
- ・療育を受けられる事業所が少ない（空きがない）。（0～6歳）
- ・児童発達支援のサービスを受けているが、制度が非常にわかりにくい。最初は健康増進課で相談し、実際支援を受けるための受給者証作成は社会福祉課へ行ったが、具体的な相談は基幹相談支援センターにする方がよいと言われた。ワンストップでできるようにしないと、途中で心が折れる人もたくさんいると思う。（0～6歳）
- ・通学が負担になった場合に他に行ける場所（施設）があればよい。保育、幼稚園、小中学校などの先生方にも発達障がいのことをもっと理解してもらいたい。（0～6歳）
- ・18歳からの人生は長く、1人ではいられないので見守りが必要。卒業後、今まで通りのサービスが受けられるのかも不明。平日のサービスは比較的充実しているが、休日は事業所がお休みのところが多い。今のサービスでは、その都度行動援護を依頼しなければならない。どこで誰に見てもらうのか、手配に手間がかかりすぎる。今のところ不安を解消する答えは見つかっていない。土日祝や施設利用後16～18時に見守りをしてくれる支援策やサービスを考えてほしい。障がいのある子を安心して預けられて、親が働き続けられる支援策を考えてほしい。（7～17歳 療育）
- ・言語訓練のために月2～3回石井町まで通っている。鳴門市に専門の先生がいたら紹介してほしい。（7～17歳 療育）
- ・富山を中心に展開されている共生型グループホームが鳴門にあればどれほど心救われるかといつも考える。費用がわかればそこに入ることを目標に仕事も貯蓄も療育もすべてをがんばろうと明るく前を向いて生きていける。今は不安しかない。80代の先輩保護者が弱った身体で障がいのある子を土曜になるたびにホームに迎えに行き、必死で週明けを待っているという話を聞いて、死にたくなる思いだった。（7～17歳 療育）
- ・保護者の理解がない。障がい者がいない家族は何もわからないため、支援学校に転校をしなければならなくなった。子どもは今の小学校に行きたいと思うが、難しいと判断し転校を選んだ。もっと理解してもらえよう福祉職員も考えてほしい。子どもがしたことなのに、親から近寄らないでなど言われたらつらい。障がい児を理解することは難しい。（7～17歳 療育）
- ・障がい児の兄弟へのフォローの場がほしい。（7～17歳 療育）
- ・サービスを利用するにあたり所得制限の額をあげてほしい。または中間金額を設定してほしい。働けば働くほど負担が大きくなる。障がい児を育てても安心して働けるように預かり先などの充実をすぐにしてほしい。（7～17歳 療育）
- ・中高生が集える場所。（7～17歳 療育）
- ・来年度より支援学校、高等部への入学を予定しているが、3年後の進路と就労について不安がある。就労支援を受けられる施設を充実させてほしい。（7～17歳 療育）

- ・ 経済面での支援。（7～17 歳 精神）他
- ・ 中学生になって学習障がい診断がついたが、相談窓口が見つけれなかった。幼少期に発覚してつながれるとずっと見てもらえるかもしれないが、病院なども小学生までだ。教育センターも、学校を通すように言われが不登校中で相談できずにいた。そこを解消しないと不安は取り除けないので困っていた。家庭からも相談できるようになるとよいと思う。（7～17 歳 精神）
- ・ 放課後等デイサービスの時間が短いので、もう少し長い時間見てほしい。（7～17 歳 複数）
- ・ ショートステイできる場所を増やしてほしい。児童発達支援・放課後等デイサービスを増やしてほしい。（7～17 歳 ）他
- ・ 支援級・通級の充実。（7～17 歳 ）他
- ・ 放課後等デイサービスで勉強を教えてくれる場所をつくってほしい。（7～17 歳 ）他
- ・ 特に義理の母親が偏見をもっており、あまり発達障がいのことは言えない。（7～17 歳 ）
- ・ 地元の企業で、障がい者枠を積極的に採用している一般企業を知りたい。目標がなければ厳しい子育てを乗り切れない。療育の先に、鳴門で仕事をしたいという希望があるだけでがんばれる。障がい者向けの職場見学もできればよいと思う。健常者向けには参加しづらく、子どもに現場を見せる機会がない。（7～17 歳 ）
- ・ 積極的に将来の進路について事例や支援を考えてくれるよう呼び掛けて、知らせてほしい。（7～17 歳 ）
- ・ 中学卒業後の選択肢が限定的なところに不安を抱いている。就労か支援校への進学の手続きではなく、普通科の高校への橋渡しや高校へ進学した場合のサポートなどがより充実することを願っている。（7～17 歳 ）
- ・ 放課後等デイサービスを変更する際の手続きがわかりにくく、相談支援員の言う通りにしないとけないと思っていた。利用者の選択が言いにくいのが残念。（7～17 歳 ）
- ・ 仲良くしている友達もいるが、馬鹿にされたり陰口を言われることもある。子どもは大人が思っている以上にひどいことを言う。皆と同じことができず苦しんでいるのは本人なので、同年代の子ども達にも発達障がいのことを知ってほしい。身近な人もそうかもしれないし、人と違うことが駄目だと思えないでほしい。今は服薬で落ち着いてきたが、それまでは学校で暴力・暴言・脱走など本当に大変で、小学校からの電話をすごくストレスに感じていた。保護者の方々にも謝罪ばかりの毎日で「この子と死のう」と思ったこともある。加害児童にも寄り添ってほしい。（7～17 歳 ）
- ・ 小学校から中学校の体制の違いが不安。（7～17 歳 ）
- ・ 相談場所や専門員を増やしてほしい。子どもが大きくなって悩んでも1人にならずに相談できる場所があることを教えてあげられるようになりたい。（7～17 歳 ）
- ・ 通所サービスを大麻町にもつくってほしい。送迎可能な事業所が少なく納得のいく事業所を選べない。（7～17 歳 ）
- ・ 近所に放課後等デイサービスがなく、送迎ができる事業所が限定されている。不登校児に対してのサービス、フリースクールもない。（7～17 歳 ）
- ・ ひとり親家庭のため、親の体調が悪いときにすぐに子どもを迎えに来て預かってくれる場所がほしい。車もなければ身動きすらとれないので、今回のコロナで不自由だと実感した。病院にも行けないつらさがあった。（－療育）他
- ・ 相談できる場所の情報を個別に郵送などで知りたい。（－）
- ・ 同じような障がいを持ちながら生活をしている方、成長された方やその養育者となつなかりが持てる機会があればよいと思う。気軽に地域の方とコミュニケーションが取れる機会が増えていけばよいと思う。（－）

けいかくさくてい
計画策定のためのアンケート
きょうりょく ねが
ご協力をお願い

ひごろ ほんし ふくしきょうせい りかい きょうりょく
日頃から、本市の福祉行政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

ほんし げんざい れいわ ねんど しよねんど なるとししやう しゃけいかく だい き なるとししやう ふくし
本市では現在、令和6年度を初年度とする鳴門市障がい者計画、第7期鳴門市障がい福祉
けいかくおよ だい き なるとししやう ふくし けいかくおよ さいてい む とく すす
計画及び第3期鳴門市障がい児福祉計画の策定に向けた取り組みを進めています。そのため、
しみん みな ふくし りやうじつたい ふくし かん いしき いこう はあく けいかくさくてい
市民の皆さまの福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識、意向などを把握し、計画策定や
しきくすすいん やくだ じっし
施策推進に役立てるためのアンケートを実施することになりました。

この調査は、令和4年10月現在、児童発達支援などの受給者証または障がい者手帳をお持ち
ちの児童を対象としています。無記名でご回答いただき、回答された方が特定されたり、個人
の回答内容が明らかにされたりすることはありません。また、ご回答の内容は、計画策定および
しきくすすいん き そしりやう しょう た もくてき つか いっさい ちやうさ
施策推進の基礎資料としてのみ使用し、その他の目的で使われることは一切ありません。調査の
しゆし りかい きょうりょく ねが
趣旨をご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

れいわ ねん がつ なるとし
令和4年12月 鳴門市

きにゅう ねが
■ご記入にあたってのお願い

- 1 封筒の宛名のご本人のことについてご回答ください。ご本人が直接回答することが
むづか ばあい かぞく かいじよしや かた ほんにん いこう そんちやう きにゅう
難しい場合は、家族や介助者の方などがご本人の意向を尊重してご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。質問への回答方法は、それぞれ質問
かいとう ばんごう まる かこ しつもん かいとうほうほう しつもん
文に記載していますので、質問文をよく読んでお答えください。
- 3 質問によっては、特定の方だけに答えていただくものがあります。答えたくない質問
しつもん とくてい かた こた こた しつもん
などに対しては、無理にお答えいただかなくても結構です。
- 4 記入が終わりましたら、12月27日（火）までに、同封の返信用封筒を使って
きにゅう お がつ にち どうふう へんしんようふうとう つか
無記名でご投函ください。切手は不要です。

◆アンケートについての問い合わせ先◆

なるとし けんこうふくし ぶ しゃかいふくしか
鳴門市 健康福祉部 社会福祉課

でんわ ファックス
電話：088-684-1145 FAX：088-684-1337

問1 きにゅう ご記入いただくのは、どなたですか。（○は1つ）

- | | | |
|--|-------------------------------|-----------------------------------|
| 1. <small>ほんにん</small> ご本人（ <small>ふうとう</small> 封筒の宛名の方） | 2. <small>ほんにん</small> ご本人の家族 | 3. <small>かぞくいがい</small> 家族以外の介助者 |
|--|-------------------------------|-----------------------------------|

◆ ねんれい 年齢・せいべつ 性別などについて

問2 ねんれい 年齢をお答えください。（すうじ 数字を記入）

まん 満 さい 歳（れいわ 令和4年11月1日時点）

問3 せいべつ 性別をお答えください。※男女の2択では選べない場合は3に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 1. <small>だんせい</small> 男性 | 2. <small>じょせい</small> 女性 | 3. <small>た</small> その他 |
|---------------------------|---------------------------|-------------------------|

問4 す お住まいの地区（ちく 町）をお答えください。（○は1つ）

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. <small>む</small> 撫養町 | 2. <small>さとうらちよう</small> 里浦町 | 3. <small>なるとちよう</small> 鳴門町 | 4. <small>せとちよう</small> 瀬戸町 |
| 5. <small>きたなだちよう</small> 北灘町 | 6. <small>おおつちよう</small> 大津町 | 7. <small>おおあさちよう</small> 大麻町 | |

◆ しょう 障がいのじょうきよう 状況について

問5 しんたいしょう 身体障がい者手帳しやてちようをお持ちですか。（○は1つ）

- | | | | |
|--------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 1. <small>きゅう</small> 1級 | 2. <small>きゅう</small> 2級 | 3. <small>きゅう</small> 3級 | 4. <small>きゅう</small> 4級 |
| 5. <small>きゅう</small> 5級 | 6. <small>きゅう</small> 6級 | 7. <small>も</small> 持っていない | |

問6 しんたいしょう 身体障がい者手帳をお持ちの場合、しゆ 主たる障がいしょうをお答えください。（○は1つ）

- | | |
|---|---|
| 1. <small>しかくしょう</small> 視覚障がい | 2. <small>ちょうかくしょう</small> 聴覚障がい・ <small>へいこうきのうしょう</small> 平衡機能障がい |
| 3. <small>おんせい</small> 音声・ <small>げんご</small> 言語・ <small>きのうしょう</small> そしゃく機能障がい | 4. <small>したいふじゆう</small> 肢体不自由（ <small>じょうし</small> 上肢） |
| 5. <small>したいふじゆう</small> 肢体不自由（ <small>かし</small> 下肢） | 6. <small>したいふじゆう</small> 肢体不自由（ <small>じょうしか</small> 上肢下肢両方・ <small>たいかんふく</small> 体幹含む） |
| 7. <small>ないぶしょう</small> 内部障がい（1～6以外） | |

とい
問7 療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. A 1 2. A 2 3. B 1 4. B 2 5. 持っていない

とい
問8 精神障がい者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

1. 1 級 2. 2 級 3. 3 級 4. 持っていない

とい
問9 難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(○は1つ)

1. 受けている 2. 受けていない

とい
問10 発達障がい※として診断されたことがありますか。(○は1つ)

※「発達障がい」とは、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障がい、学習障がい、
注意欠陥多動性障がいなどの脳機能障がい、通常低年齢でその症状が発現するものです。

1. 診断されたことがある
2. 発達障がいとは診断されていないが、医療機関などから療育を勧められている
3. 診断されたことがない

とい
問11 自立支援医療受給者証(精神通院)をお持ちですか。(○は1つ)

1. 持っている 2. 持っていない

とい
問12 現在受けている医療的ケアをお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 気管切開 | 2. 人工呼吸器(レスピレーター) |
| 3. 吸入 | 4. 吸引(たん吸引) |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 6. 鼻腔経管栄養 |
| 7. 中心静脈栄養(IVH) | 8. 透析(人工透析・腹膜透析) |
| 9. カテーテル留置 | 10. ストマ(人工肛門・人工膀胱) |
| 11. 服薬管理 | 12. その他() |
| 13. 医療的ケアは受けていない | |

問16 学校などの卒業後の進路についてどのように考えていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 職業訓練を受けたい、資格を修得したい | 2. 通所施設や作業所を利用したい |
| 3. 一般の民間会社や公的機関などで働きたい | 4. 入所施設を利用したい |
| 5. 大学や専門学校などに進学したい | 6. 卒業後の進路はまだ考えていない |
| 7. その他（ ） | |

問17 将来、どのような暮らし方をしたいと考えていますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | |
|--------------------------------|
| 1. 自立して生活する |
| 2. 自宅で、介助や支援を受けながら、ひとりで暮らす |
| 3. 自宅で、介助や支援を受けながら、家族などと一緒に暮らす |
| 4. グループホームなどで、介助や支援を受けながら暮らす |
| 5. 障がいのある人のための施設で暮らす |
| 6. 将来の生活についてはまだ考えていない |
| 7. その他（ ） |

◆ 日中活動について

問18 1週間にどの程度外出しますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 毎日外出する | 2. 1週間に数回外出する |
| 3. めったに外出しない | 4. まったく外出しない |

問19 外出する時に困ることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない（ない） | 2. 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い | 4. 外出先の建物の設備が不便 |
| 5. 周囲の自動車や自転車などの運転に配慮がない | |
| 6. 音声式信号機や誘導ブロックなどの設備が少ない | |
| 7. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい | 8. 介助者が確保できない |
| 9. 困った時にどうすればいいのか心配 | 10. 外出にお金がかかる |
| 11. 発作など突然の心身の変化が心配 | 12. 周囲の目が気になる |
| 13. その他（ ） | 14. 困ることはない |

問20 平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------------------------|-------------------------|
| 1. 自宅で過ごしている | 2. 保育所・幼稚園・認定こども園に通っている |
| 3. 小学校・中学校に通っている | 4. 高等学校や専門学校などに通っている |
| 5. 特別支援学校に通っている | 6. 通所・通園施設に通っている |
| 7. 「フリースクール等」及び「適応指導教室（うず潮教室）」に通っている | |
| 8. 入所施設で過ごしている | |
| 9. その他（ ） | |

【問21は、問20で「2. ～8. 」を選んだ方】

問21 学校や施設などで困っていることがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 進路に関する情報が得にくい | 2. 進路の選択肢が少ない |
| 3. 進路について、どこ(誰)に相談していいのかわからない | |
| 4. 友だちができない | 5. 友だち間のトラブルが絶えない |
| 6. 特性を理由にいじめられている | 7. 障がいに対する児童生徒の理解が十分でない |
| 8. 子どもと先生とのコミュニケーションがうまくいっていない | |
| 9. 障がい特性について保護者同士の理解が得られない | |
| 10. 保護者と学校(園)の間で意見の相違がある | |
| 11. 障がいに対する教職員の理解が十分でない | |
| 12. 障がいの特性に応じた教育・指導が得られない | |
| 13. 障がいの特性に応じた配慮が得られない | |
| 14. 障がいに配慮された設備になっていない | |
| 15. 学校(園)と通所事業所の間で支援方針が大きく異なる | |
| 16. その他（ ） | |
| 17. 困っていることは特にない | |

◆ 障がい福祉サービスなどの利用について

問22 次の障がい福祉サービスについて、「現在の利用状況」と「今後の利用意向」の両方をお答えください。（それぞれ1つに○）

障がい福祉サービス	現在の利用状況		今後の利用意向	
	利用中	利用なし	利用したい	利用しない
① 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅での入浴や食事、通院などを介助する。	1	2	1	2
② 行動支援 知的障がいや精神障がいにより常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動を補助する。	1	2	1	2
③ 短期入所（ショートステイ） 在宅の障がい者の介護者が病気の場合などに障がい者が施設に短期間入所し、入浴、排せつ、食事の介護などを行う。	1	2	1	2
④ 計画相談支援 福祉に関する問題や介護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言などを行う。	1	2	1	2
⑤ 児童発達支援 日常生活の動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などの支援を行う。	1	2	1	2
⑥ 放課後等デイサービス 放課後や学校の休校日に、生活能力向上の訓練や社会との交流促進などの支援を行う。	1	2	1	2
⑦ 保育所等訪問支援 保育所などを訪問し、障がい児に集団生活への適応のための専門的な支援などを行う。	1	2	1	2
⑧ 居宅訪問型児童発達支援 重度障がいの状態などで外出が著しく困難な障がい児に、自宅を訪問し、日常生活動作の指導、知識技能の付与、訓練などを行う。	1	2	1	2

◆相談相手や情報源について

問23 普段、悩みや困ったことを誰（どこ）に相談しますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------------------------------|------------------------|
| 1. 家族や親せき | 2. 友人・知人 |
| 3. 近所の人 | 4. 保育所、幼稚園、学校などの先生 |
| 5. 施設の職員など | 6. 障がい者に関する団体や家族会 |
| 7. 基幹相談支援センター | 8. かかりつけの医師や看護師 |
| 9. 病院のケースワーカー、介護保険のケアマネジャー、ソーシャルワーカー | |
| 10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 | 11. ホームヘルパーなどサービス事業所の人 |
| 12. 民生委員・児童委員 | 13. 市の相談窓口 |
| 14. 県や国の相談窓口 | 15. どこへ相談したら良いかわからない |
| 16. その他（ | ） |

問24 障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから入手していますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 本や新聞、テレビ、ラジオ | 2. インターネットやSNS |
| 3. 市の広報紙 | 4. 家族や親せき、友人・知人 |
| 5. 障がい者に関する団体や家族会 | 6. サービス事業所の人や施設職員 |
| 7. 保育所、幼稚園、学校などの先生 | 8. 病院などの医療機関 |
| 9. 基幹相談支援センター | 10. 社会福祉協議会 |
| 11. 相談支援事業所 | 12. 市の相談窓口 |
| 13. その他（ | ） |
| 14. どこで情報を入手したらいいかわからない | |

◆けんりようご権利擁護について

問25 しょう障がいがあることで差別や嫌な思いをする（した）ことがありますか。（○は1つ）

1. ある	2. すこ 少しある	3. ない
-------	---------------------------	-------

↓
問26へ

【問26は、問25で「1. 」または「2. 」（ある）を選んだ方】

問26 ばめんどの場面や場所ばしょで差別や嫌な思いをしましたか。（あてはまる番号すべてに○）

1. がっこう 学校などの通学・ つうがく 通園先	2. しやくしょ 市役所などの行 政 窓 口
3. よ か たの 余暇を楽しむとき	4. きんじょづ 近所付き合いや地域活動のとき
5. こうきょうこうつうきかん 公共交通機関を利用するとき	6. か もの 買い物・食事のとき
7. かぞく 家族・ しんせきづ 親戚付き合いのとき	8. こうきょうしせつ 公共施設（ こうみんかん 公民館や としょかん 図書館など）の利用のとき
9. その他（ ）	

◆さいがいじ ひなん災害時の避難について

問27 だいじしん大地震やだいこうすい大洪水などの災害時に備えて、さいがいじ普段から準備していることはありますか。
（あてはまる番号すべてに○）

1. ひなんばしょ 避難場所の把握	2. ひなんばしょ 避難場所の確認（ けんがく 見学など）
3. ひなんけいろ 避難経路の確認	4. ひなんじ 避難時に支援してくれる人の確保
5. じもと 地元の避難訓練への参加	6. みず 水や びちくしょくりよう 備蓄食 料の準備
7. よ び 予備の福祉用具などの準備	8. か ぐ 家具・ か でん 家電などの転倒防止策
9. こべつひなんけいかく 個別避難計画（ し 市の事業）の作成	10. その他（ ）
11. とく 特に準備していない	

とい さいがい じ こま なん ばんごう
 問28 災害時に困ることは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 投薬や治療が受けられない
<small>とうやく ちりょう う</small> | 2. 福祉用具の使用が困難になる
<small>ふくしようぐ しょう こんなん</small> |
| 3. 福祉用具の入手に困る
<small>ふくしようぐ にゅうしゅ こま</small> | 4. 救助を求めることができない
<small>きゅうじょ もと</small> |
| 5. 安全な場所までスムーズに避難できない
<small>あんぜん ばしょ ひなん</small> | 6. 被害や避難場所の情報の入手に困る
<small>ひがい ひなんばしょ じょうほう にゅうしゅ こま</small> |
| 7. 周囲とコミュニケーションがとれない
<small>しゅうい</small> | 8. 避難場所の設備や生活環境への不安
<small>ひなんばしょ せつび せいかつかんきょう ふあん</small> |
| 9. 家族以外の支援がないと避難できない
<small>かぞくいがい しえん ひなん</small> | 10. 近所に避難を助けてくれる人がいない
<small>きんじょ ひなん たす ひと</small> |
| 11. 避難が必要かどうか判断できない
<small>ひなん ひつよう はんだん</small> | 12. 障がいのある本人が避難を拒否する
<small>しょう ほんにん ひなん きよひ</small> |
| 13. 避難による体調や情緒の不安定
<small>ひなん たいちょう じょうちょ ふあんてい</small> | |
| 14. 避難に備えて何を準備していいのかわからない
<small>ひなん そな なに じゅんび</small> | |
| 15. その他 ()
<small>た</small> | |
| 16. 特にない
<small>とく</small> | |

とい ひなんばしょ おも せつび びひん じゅうきじゅつ
 問29 避難場所にあったらいいと思う設備や備品などがありますか。(自由記述)

◆本市の施策について ほんし しさく

とい ほんし しょう ふくし と く まんぞく
 問30 本市の障がい福祉の取り組みについてどれくらい満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--------|
| 1. 非常に満足
<small>ひじょう まんぞく</small> | 2. やや満足
<small>まんぞく</small> | 3. ふつう |
| 4. やや不満
<small>ふまん</small> | 5. 非常に不満
<small>ひじょう ふまん</small> | |

問31 子どもの発育・発達のために、特に重要と思う取り組みは何ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|-------------------|
| 1. 乳幼児健診の充実 | 2. 家庭訪問などによる相談・指導 |
| 3. 学童保育や休日などの居場所づくり | 4. 安心して遊べる機会や場の確保 |
| 5. 学校などでの特別支援教育の充実 | |
| 6. 子どもや保護者が地域社会との関わる機会や環境づくり | |
| 7. 保育所などから小学校、小学校から中学校への進学など、節目での相談支援の充実 | |
| 8. 保育所などから小学校、小学校から中学校などへの切れ目のない情報の引き継ぎ | |
| 9. 地域での療育・リハビリテーション体制の充実 | |
| 10. 保育所・幼稚園・認定こども園の受け入れ体制の充実 | |
| 11. 保護者が介助できないときの一時的な見守りや介助に対する支援 | |
| 12. その他 () | |

問32 障がいのある人が安心して住み続けられるまちづくりを進めるうえで、次のどれを優先的に取り組むべきだと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域における相談・支援体制の充実 | 2. 医療的ケアが必要な方への支援 |
| 3. 障がい者の就労や就労定着の支援 | 4. 障がい者の余暇活動の場や機会の充実 |
| 5. 障がいに対する市民への理解の促進 | 6. 障がい者差別の解消 |
| 7. 発達障がい者(児)への支援 | 8. 障がい者スポーツ・文化の普及啓発 |
| 9. その他 () | |

問33 市の障がい者(児)福祉施策へのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

※封筒の宛名のご本人に関する質問は以上で終了です。

※以下の質問については、主にご本人の養育（支援）を行っている方がご回答ください。

問34 封筒の宛名のご本人を養育（支援）していることで、現在、不安（または負担）に感じていることはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 他の家族や親族の無理解 | 2. 近所などの身近な地域の無理解 |
| 3. 保育所や学校などの無理解 | 4. 社会全体の無理解 |
| 5. 自分の時間が持てない | 6. 思うように働けない |
| 7. 身近に相談できる人がいない | 8. 経済的な負担が大きい |
| 9. 本人の特性について相談できる医療機関が少ない（ない） | |
| 10. 災害や家族の急病などの緊急事態発生への不安 | |
| 11. 本人の不安定な行動 | 12. 体力的な負担が大きい |
| 13. 進学や就職への不安 | 14. 将来の自立生活への不安 |
| 15. 通所サービスなどの不足 | |
| 16. その他（ ） | |
| 17. 不安（負担）を感じることはない | |

問35 現在、感じている不安（または負担）を解消するために、必要と考える支援策やサービスはありますか。（自由記述）

本調査へのご協力ありがとうございました。

調査票を返信用封筒に入れてポストに投函してください。（切手は不要です）

「障がい者計画」・「障がい福祉計画」・
「障がい児福祉計画」策定のための
アンケート結果報告書【18歳未満】

令和5年2月

企画・編集 鳴門市 健康福祉部 社会福祉課